

# 北海道公共牧場(長)会40年のあゆみ

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S48. 7. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共牧場長会発足 規約内容 (目的)この会は、道内の各公共牧場が連携強調のもとに、草地の高度利用における育成管理の効率化及び経営管理の近代化を推進し、公共牧場の円滑なる運営と地域酪農畜産の振興発展に寄与することを目的とする。  その後 公共牧場整備事業の補助要望活動を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本土復帰「沖縄特別 国体」開幕。</li> <li>・北電、伊達火力発電強行着工。</li> <li>・根室沖地震発生(震度5)。</li> <li>・長沼ナイキ訴訟、札幌地裁で自衛隊は憲法違反の判決。</li> </ul>
S49. 8. 2~3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共牧場長会研修協議会・総会 標茶町 概要 資料不足により不詳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルバング島で日本人青年が小野田寛朗元少尉と接触。</li> </ul>
S49. 10. 31~11. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国協同利用模範牧場長研修・会議 農林省草地試験場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根釧地区の酪農家約5000戸が低乳価に抗議して、生乳出荷スト。</li> </ul>
S49. 12. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回臨時総会 道庁赤レンガ会議室 概要 1)協議事項 当面する共通課題と対策について(共通課題と要望事項) 1. 施設・環境整備事業の実施促進について ①草地改良整備事業の採択条件に緩和による公共牧場への摘要 ②飼料自給率向上の作付転換に対する助成措置 ③先発牧場の大型作業体系切換えに対する助成措置 2. 地全協周年育成費助成年限(現行7回)の延長について 3. 事業主体別(市町村・農協等)経営ルールの確立について 4. 国有林野の貸付料・売渡条件について 5. 牧野衛星対策 特にピロ、肺虫症、ピンクアイ等予防の共済制度適用(特損事業指定)について 2) 牧場長会の昭和50年の主要行事について 研修会の開催(今金町開催予定) 財源確保が必要 べーラーの研修会(旭川市全農講習会) 内地研修視察(陳情を兼ねて) 等々 資料不足により一部不詳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森永ミルク中毒訴訟で国、森永乳業が謝罪、原告側と和解。</li> <li>・乱開発規制の北海道自然環境等保全条例施行。</li> <li>・北の湖史上最年少(21歳2ヶ月)の横綱に。</li> <li>・愛国駅で4月から発売の幸福駅行き乗車券、300万枚を突破。</li> <li>・佐藤栄作元首相にノーベル平和賞。</li> </ul>
S49. 12. 18~20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林省・公団・中央畜産会・地全協等陳情要請 会長対応</li> </ul>	
S50. 1. 27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本州・九州公共牧場畜産施設研修視察 5名参加</li> </ul>	
S50. 4. 7~8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国共同利用模範牧場長会議及び関係機関陳情等 東京都 概要 溝井副会長及び伊藤理事が出席し、併せて関係機関へ公共牧場の課題調整を実施する。</li> <li>・農業機械研修会 旭川市 概要 賛助会員によるヘイべラー講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京高裁が女性差別の定年制に違憲判決。</li> <li>・佐藤栄作元首相没。</li> <li>・農林省が食糧自給率向上などを狙う「総合食糧政策」発表。</li> </ul>
S50. 6. 3~4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共育成牧場管理運営協議会 今金町民センター 概要 1)来賓祝辞 今金町長 河端 豊氏 標茶町 門屋 盛吾氏 2)特別講演 「我が国の草地開発について」 講師：農林省 自給飼料課 課長補佐 小野沢 重男氏 3)公共牧場の管理運営の現状について 話題提供牧場：標茶多和育成牧場 話題提供牧場：足寄町大規模草地育成牧場 話題提供牧場：今金高原模範牧場 4)現地視察研修(今金高原模範牧場)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3億円事件の時効が成立</li> <li>・第8回統一地方選始まる。道知事は堂垣内氏。</li> <li>・千歳の米軍完全撤退。</li> <li>・北海道自然環境保全審議会、天売島を特定保護区、8地域を鳥獣保護区に決める。</li> <li>・SLサヨナラ列車、室蘭―岩見沢間走り103年の歴史に幕。</li> </ul>
S50. 7. 31		

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S50. 8. 1	<p>・ <b>第 3 回定期総会</b>  概要 1) 昭和 49 年度 会務報告 決算報告 監査報告 (原案承認)  2) 昭和 50 年度 事業計画及び収支予算案 (原案のとおり可決)  3) 公共育成牧場の当面する共通課題と対策について  ふん尿処理問題については、公害問題も含めて共通課題とするため次回までに報告願う  4) 昭和 50 年度事業計画の重点について  1. 今後は分科会的な進め方で検討を行なう  2. 名称を北海道公共牧場長連絡協議会にしてはどうか  5) 役員改選 (選挙委員 4 名により実施)  会長の辞任 (理由 現在牧場長でないため)  会長溝井道夫 (標茶町)、副会長木村杉生 (白糠町)  加藤 要 (今金町)、理事、監事、事務局決定する  資料不足により一部不詳</p>	<p>・ 北海道庁ロビーで時限爆弾爆発。</p>
S51. 6. 29	<p>・ <b>全国共同利用模範牧場長会役員会及び団体長合同会議</b> 東京都  概要 会長及び副会長出席 町村会代表 訓子府町長 標茶町長対応</p>	<p>・ 公立学校の主任制発足。  ・ ロッキード事件で田中前首相逮捕。</p>
S51. 8. 2~3	<p>・ <b>全道公共育成牧場現地研修会及び臨時総会</b> 清水町農業研修センター  出席者 83 名  概要 1) 講演  「草地開発の現状について」  本道の草地開発予定は今後 20 万 ha あるが緊急粗飼料増産対策総合事業 (S53 年度) で造成可能面積は、約 2 万 ha 程度であるため残り 18 万 ha 程度については、このほど法人化した日本草地協会・北海道の再整備女性を回り強力に推進する考えである。  このため、日本草地協会と全国共同利用模範牧場会並びに北海道公共牧場長会が連携を図ることが大切である。  また、市町村が取得する公共育成牧場用地 (農業開発公社取得) に対する取得資金の全額融資を昭和 52 年度より実施するよう検討中である。昭和 49 年度より実施している牧場長及び管理者の財務研修会は、畜産複式簿記と財務計画を内容としているため非常に好評で有意義なものである。公共牧場長は研修を是非受講することを進める。なお、早めに関係機関 (中央畜産会) に申し込みすること。等々  講師：農林省畜産局自給飼料課 課長補佐 小野沢 重男 氏  2) 体験発表及び意見交換会  (助言者：新得畜産試験場 及川研究部長)  「公共育成牧場の管理組織について」  話題提供者：標茶町多和育成牧場 牧場長 溝井 道男 氏  「公共草地の維持管理について」  話題提供者：白糠町共同利用模範牧場 牧場長 木村 杉生 氏  「公共育成牧場の家畜衛生管理について」  話題提供者：足寄町大規模草地 牧場長 石井 格 氏  3) 牧場視察 (清水町円山地区育成牧場)  紹介者・清水町営育成牧場 牧場長 小川 宏 氏  4) 臨時総会  会費 周年牧場 12,000 円 夏期牧場 7,000 円に改正  会費増額の用途 旅費役務費研修会費の増額</p>	<p>・ ミグ 25 戦闘機函館空港に強行着陸。  ・ 足寄町で約 1500 万年前の奇獣デスモスチルスの化石発見。  ・ 全国初のアセスメント条例可決 (川崎市)  ・ 札幌高裁は、長沼ナイキ基地訴訟控訴審で「自衛隊は違憲」の一審判決を取り消し告訴勝訴。  ・ 苫東港の港湾建設作業スタート。  ・ <b>天候不順で北海道作況指数が全国最低 80 に。</b>  ・ 飛鳥京跡から日本最古の木簡発見。  ・ 福田内閣誕生。</p> <p>1 等賞金 1000 万円のジャンボ宝くじ売り出しに各地で群衆殺到。福岡と松本で死者</p>
S51. 8. 9	<p>・ <b>公共牧場整備事業の創設陳情</b> 釧路市 会長・副会長対応</p>	
S51. 9. 26	<p>・ <b>整備事業 航空機事業実施団体等の協議</b></p>	
S51. 10. 4~9	<p>・ <b>先進地視察研修 (道外)</b> 今金町 加藤幹事ほか 7 名参加  概要 1) 福島県白河町高原牧場視察研修  2) 白河町内個人牧場視察研修  3) 農林省ほか 7 ヶ所視察研修</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S51. 10. 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>経営者並びに牧場会員合同会議</b> 札幌市 概要 小野沢課長補佐出席により公共牧場整備事業の陳情について協議する。</li> </ul>	
S51. 11. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>公共牧場整備事業の創設・予算獲得陳情</b> 東京都 概要 農林省・大蔵省へ創設陳情実施</li> </ul>	
S51. 11. 29～12. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>公共牧場運営合理化協議会</b> 道内2ヶ所（全国8ヶ所） 概要 道内 訓子府町と上士幌町で開催する（道主催）</li> </ul>	
S51. 12. 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>農林水産航空事業制度 15周年記念式</b> 東京都 概要 会長・森顧問表彰</li> </ul>	
S51. 12. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>航空機利用施肥打ち合わせ会議</b> 釧路市 概要 前年度実施反省及び昭和52年フライト計画協議</li> </ul>	
S52. 3. 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>公共育成牧場管理運営実務研修会</b> 道庁赤レンガ庁舎 2F1号会議室 概要 1) 講演 「公共育成牧場の財務計画のたて方について」 財務計画のたて方については、日常の記録を十分に分析し、検討改善を行うことが基本である。また、公共牧場のできた4つの要因、①山林原野の利用権の歴史的背景②日本畜産の機能分担の歴史的背景③零細な日本農業における規模拡大の要請④強健な後継牛の確立、ほか全国の乳用牛飼養農家数（農林統計）により解説 講師：農用地開発公団計画部 次長 斎藤 顕 氏 （前農林省畜産局自給飼料課課長補佐）  「公共育成牧場の経営分析と実務実例について」 公共育成牧場の必要性は、農家の要請である強健な優良牛の供給期待と利用農家の規模拡大の側面的援助であり、営利、利潤を追求するものではない、しかし、政策的配慮が強く働いている牧場は経営改善が困難である。放漫的なものがなければ経営管理者にまかせることが大切である。政策と経営は分離することが必要である等々について解説</li> </ul>	
S52. 3. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第5回定期総会</b> 札幌市（道庁赤レンガ庁舎） 概要 1) 昭和51年度 会務報告 決算報告 監査報告（原案承認） 2) 昭和52年度 事業計画及び収支予算案（原案可決）</li> </ul>	
S52. 3. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第4回牧野衛生研究会</b> 概要 1) 牛の真菌症について 2) 放牧牛の行動から見た放牧管理について 3) バリゾンバックの自由利用法に関する研究について 4) 質疑応答</li> <li>・ <b>冬期舎技術研修会</b> 白糠町 概要 資料不足により不詳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立大学共通1次試験のため大学入試センター発足。</li> <li>・ 第1回マイクロコンピュータショー開催。</li> <li>・ 宇宙開発事業団が初の静止気象衛星「ひまわり」を打ち上げ。</li> <li>・ 有珠山噴火。</li> <li>・ 王貞治「国民栄誉賞」第1号の受賞。</li> <li>・ カネミ油症訴訟で福岡地裁が被害者全面勝訴。</li> <li>・ 道東・道北に大寒波。幌加内で氷点下42.1度を記録。</li> </ul>
S52. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>航空機肥料散布、整備事業等陳情</b> 道へ 概要 資料不足により不詳</li> </ul>	
S52. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>上京による陳情</b> 東京都</li> </ul>	
S52. 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>全道公共牧場長技術研修会</b> 枝幸町 概要 資料不足により不詳</li> </ul>	
S52. 8. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>北海道公共牧場長会職員表彰要領制度</b></li> </ul>	
S52. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>乾草梱包用ロールペーラ技術講習会</b> 足寄町 概要 資料不足により不詳</li> </ul>	
S52. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>全国共同利用模範牧場長会</b> 東京都 概要 資料不足により不詳</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S53. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機空中肥料散布事業打合せ 帯広市</li> <li>・航空機空中肥料散布事業運行画協議及び事業推進助成要望 東京都</li> </ul>	
S53. 4. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回定期総会 標茶町役場大会議室 出席者 66 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>概要 1) 特別講演等 <ul style="list-style-type: none"> <li>「公共牧場整備事業について」(昭和 52 年度より実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介者：道酪農草地課 担当職員より</li> <li>「東南アジア視察報告会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>報告者：雄武町育成牧場長</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2) 北海道公共牧場長会永年職員表彰 (5 名)</li> <li>3) 昭和 52 年度 会務報告 決算報告 監査報告 (原案承認)</li> <li>4) 昭和 53 年度 議業計画・収支予算案 (原案可決) <ul style="list-style-type: none"> <li>運動方針 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共牧場整備事業の補助率アップ</li> <li>2. 航空機空中肥料散布事業の助成</li> <li>3. 公共牧場全国組織化と運営助成</li> <li>4. ブロック別管理運営合理化会議の開催</li> <li>5. 高度な草地管理技術研修会の開催</li> <li>6. 機械リース事業体制の整備</li> <li>7. 管理運営費の助成 等々</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>5) 航空機空中肥料散布技術研修会 (25 日)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電電公社が光ファイバーによる海底ケーブル通信の実験に成功。</li> <li>・新東京国際空港 (成田空港) 開港式。</li> <li>・第 1 回国連軍縮特別総会開幕。</li> <li>・農林省が「農林水産省」と改称。</li> <li>・無限連鎖講 (ネズミ講) 防止法公布。</li> <li>・日米防衛協力のための指針 (ガイドライン) を決定。</li> <li>・日米農産物交渉妥結。オレンジ、牛肉など輸入枠拡大。</li> <li>・空知の妹背牛商が孝行選抜バレーで全国初優勝。</li> <li>・道都大学開設。</li> <li>・道環境影響評価 (アセスメント) 条例、道議会で可決。</li> <li>・全国稲作況指数 107 で史上空前の豊作。</li> <li>・根室で初の全国民参加北方領土返還要求大会開く。</li> <li>・植村直己が犬ゾリで北極点に単独で初めて到達。</li> </ul>
S53. 7. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共育成牧場実務管理者技術研修会 大樹町福祉センター 出席者 77 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>概要 1) 講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>「大家畜畜産と粗飼料生産のあり方」 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師：農林省畜産局自給飼料課 課長 山田 績 様</li> </ul> </li> <li>「公共育成牧場の管理運営について」 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師：道立新得畜産試験場 種畜部長 小崎 正勝 様</li> </ul> </li> <li>「公教育成牧場の草地管理について」 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師：農林水産省北海道農業試験場 草地開発第一 1 部草地第一研究室 室長 平島 利昭 様</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>公共育成性牧場整備事業採択による概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的 近年尾乳用牛及び肉用牛の飼養農家の使用規模拡大に伴い増大している地域の粗飼料需要並びに乳用牛及び肉用牛の育成需要に応えるため、その重要性がますます高まりつつある公共育成牧場について、牧場施設の改善等を行い、その機能の高度化を図る。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3) 現地研修会 (大樹町大規模草地育成牧場) 18 日</li> </ul> </li> </ul>	
S53. 7. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時総会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>概要 不詳</li> </ul> </li> </ul>	
S53. 7. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産航空協会会長牧野施肥業務視察 標茶町</li> </ul>	
S53. 9. 26~27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全道公共牧場職員技術研修会 音更町 <ul style="list-style-type: none"> <li>概要 不詳</li> </ul> </li> </ul>	
S53. 11. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員等先進地視察研修 福島県ほか <ul style="list-style-type: none"> <li>概要 会長及び上士幌町強谷場長</li> </ul> </li> </ul>	
S53. 12. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共牧場整備事業関係合同陳情 道町村会</li> </ul>	
S54. 2. 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全道公共牧場航空機運航計画打ち合わせ会議開催 帯広市</li> </ul>	
S54. 3. 19~20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共牧場運営合理化協議 東京都</li> </ul>	
S54. 4. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドによる研修会等 <ul style="list-style-type: none"> <li>概要 「放牧牛の衛生」 「最近の乳牛の病気」</li> <li>各メーカー業務発表並びに意見交換</li> </ul> </li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S54. 4. 20	<p>・ <b>第7回定期総会</b> 十勝川温泉雨宮ホテル</p> <p>概要 1) 特別講演 「酪農経済について」 講師：帯広畜産大学 教授 西村 正一 氏</p> <p>2) 北海道公共牧場長会永年職員表彰 (9名)</p> <p>3) 役員の増員について (2名) 雄武町 長尾場長 苫前町 財原場長 (可 決)</p> <p>4) 規約の一部改正について (可 決)</p> <p>5) S53年度 会務報告 決算報告 監査報告 (原案承認)</p> <p>6) 負担金の改正について (原案可決)</p> <p>7) S54年度 議業計画・収支予算案 (原案可決)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国と中国が国交樹立。</li> <li>・ 国公立大学入試の共通1次学力試験を実施。</li> <li>・ 全国の電話のダイヤル即時通話網が完成。</li> <li>・ NECがパーソナル・コンピュータPC-8001を発表。パソコンブームの口火。</li> <li>・ 財田川自県で高松地裁が再審決定(死刑囚初の再審。)</li> <li>・ 気象庁、降雨確率予報を導入決定。</li> <li>・ 北海道スモン訴訟、札幌地裁で患者側全面勝訴。</li> <li>・ インベーダーゲーム大流行。</li> <li>・ 米・中国交回復。</li> <li>・ 三菱南大夕張でガス爆発。</li> <li>・ サッチャー女史が米国首相に。</li> <li>・ 台風20号で釧路沖の日韓漁船4隻遭難。死亡・行方不明67人。</li> </ul>
S54. 7. 17~18	<p>・ <b>第7回全道公共育成牧場長研修会</b> 白糠町公民館</p> <p>概要 1) 講演内容不詳 講演：農林水産省 畜産局 自給飼料課 課長 内藤 氏</p> <p>2) 実績発表 「草地における航空機施肥の合理化に関する調査」 発表者：標茶町多和育成牧場 次長 中川 忠明 氏 「晩秋放牧について」 発表者：白糠町共同利用模範牧場 場長 木村 杉生 氏</p> <p>3) 特別講演 「ダニに関する最近の知見」 講演：農林水産省家畜衛生試験場 室長 北岡 茂男 氏</p> <p>4) 現地視察 白糠町共同利用模範牧場</p>	
S54. 7. 18	<p>・ <b>第7回臨時総会開催</b> 白糠町公民館</p> <p>概要 1) 役員改選 (人事異動等による) 選考委員5名により選出 以下のとおり決定する (幹事8名：監事2名) 会長溝井場長。副会長木村場長。代表幹事加藤場長 (新役員 豊富町菅原場長。 中標津町赤塚場長)</p> <p>2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員技術研修会開催について</li> <li>・ 職員表彰について (臨時職員も含む) 役員退職者 (人事異動等) 記念品贈呈 贈呈者 上士幌町 強谷場長 枝幸町 十文字場長</li> <li>・ 定期総会の開催地について 昭和55年度定期総会開催地 (標茶町俵橋予定) 昭和56年度定期総会開催地 (稚内市予定)</li> </ul>	
S53. 9. 3	<p>・ <b>北海道公共牧場場長役員会</b> 札幌市</p> <p>概要 溝井会長人事異動による会長及び副会長改選 会長 白糠町木村場長 副会長 足寄町石井場長</p>	
S54. 11. 27~28	<p>・ <b>道外牛預託事業に関する会議</b> 札幌市</p> <p>概要 道外預託団体代表 (9名) と道内預託可能牧場 (11牧場) との打ち合わせ</p>	
S55. 4. 22	<p>・ <b>北海道公共牧場長会ブロック会議</b> 北海道自治会館 出席者76名</p> <p>概要 北海道公共牧場長会は、現在正会員58牧場・賛助会員20社計80会員となり、今後も新会員の加入が予想されます。当会を今後益々発展させるためには、各会員の悩みや要望等をより正しく汲み上げ、運営方針に反映させることが大切です。しかし年2回の総会においては、約80の会員が一堂に会するため、個々の意見等を十分に集約することが不可能となっています。先に役員会で議論され、次のとおり各牧場を道南、道央、道北、道東等に分類し各ブロック毎に担当役員を配置して意見の集約をすることを目的として会議を開催する。賛助会員は各ブロックに自由参加とした。ブロック会議は、各牧場より経営概要調査書の資料を持参して報告、意見の発表を行った。</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S55. 4. 23	<p>・ <b>第 8 回定期総会</b> 北海道自治会館</p> <p>概要 1) ブロック会議総括発表  2) 牧場永年勤続者表彰 (13 名)  3) 昭和 54 年度 会務・決算・監査報告 (原案承認)  4) 昭和 55 年度 事業計画・予算案 (原案可決)  5) 賛助会員発表  6) 特別講演  「公共育成牧場管理運営の実態と比較検討」  講師：北海道農務部 専門技術員 今岡 氏  「公共育成牧場の草地管理技術の問題点とその対応について」  講師：農林水産省北海道農業試験場 研究員 藤岡 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過疎地域振興特別措置法公布</li> <li>・ 富士通が日本語電子タイプライタスリー発売。ワープロ時代スタート。</li> <li>・ 日本体協緊急理事会は、モスクワ五輪不参加を決定。</li> <li>・ 農林水産省が冷害による穀物被害調査を報告。被害見込額 6,919 億円で戦後最悪。</li> <li>・ 農林水産省が 81 年度からの第 2 期水田利用再編成対策決定。</li> <li>・ 最高裁が死刑判決確定の免田栄の再審を決定。死刑囚初の再審。</li> <li>・ 札幌に中国総領事館が開設。</li> <li>・ 知床横断道路開通。</li> <li>・ 北海道とカナダ・アルバータ州が姉妹都市提携に調印。</li> <li>・ 苫小牧東港が開港。</li> <li>・ 衆議院本会議で大平内閣不信任案可決。</li> <li>・ 鈴木善幸内閣誕生。</li> </ul>
S55. 8. 27～28	<p>・ <b>臨時総会 (牧場長研修会)</b> 標津町 (養老牛温泉) 出席者 91 名</p> <p>概要 1) 講演  「今後の農業情勢について」  昨年に引き続き全道公共育成牧場長研修会に出席できたことを私自身誠に喜びにたえない次第でございます。公共育成牧場も全国で 1,204 牧場、全道では大小含めて 390 牧場となり、その役割も益々重要性をおびてきていますが、日頃各牧場長には地道な業務の中でご苦労いただいていることを心より感謝申し上げます。ご存知のように最近の農業情勢は国際的にも誠に厳しい時期に直面している。農林省関係の昭和 56 年予算要求額においても伸び率 7.5% であり非公共事業については伸び率ゼロと誠に厳しい状態にある。しかし、草地開発事業関係については、今後の肉資源との関連から予算額は伸びる見込みである。現在、国内で牛乳がオーバープロダクションしているが、これは需要と生産のバランスが崩れていることと輸入が増大していることにある。ただ牛乳の場合、生産者自らが、生産調整や需要拡大を努力推進している点では米、野菜生産と異なっているため農林水産省としても全面的にこれらの対策に努力していく等々</p> <p>講師：農林水産省 畜産局自給飼料課 課長 内藤 進 氏  「公共育成牧場の草地管理について」  講師：根釧農場試験場 草地課 科長 小関 純一 氏</p> <p>2) 体験発表  発表者：雄武町大規模草地育成牧場 場長 長尾 鉄雄 氏</p> <p>3) 牧場紹介  紹介者：標津町依橋大規模草地事務組合  事務局長 福田 正義 氏</p>	
S55. 11. 7	<p>・ <b>府県牛預託事業に関する協議会</b> 札幌市</p>	
S56. 3. 23	<p>・ <b>草地管理指標策定会議</b> 東京都</p> <p>概要 昭和 53 年～55 年の 3 年間の集約  北海道～沖縄までの全国的草地管理指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生省の招待で中国残留孤児 47 人は初の正式来日。26 人の身元が判明。</li> </ul>
S56. 4. 21	<p>・ <b>北海道公共牧場長会ブロック会議</b> 北海道自治会館</p> <p>概要 道南、道央、道東 A、道東 B ブロックにより情報交換等経験、意見の集約及び交流を深める。(参加 32 牧場)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国鉄経営再建特別措置法施行公布。赤字ローカル線 77 路線の廃止を規定</li> <li>・ 北炭夕張炭坑でガス突出事故。93 人死亡。</li> </ul>
S56. 4. 22	<p>・ <b>第 9 回定期総会</b> 北海道自治会館</p> <p>概要 1) 永年勤続職員表彰 (22 名)  2) 昭和 55 年度 会務報告 決算報告 監査報告 (原案承認)  3) 昭和 56 年度 事業計画及び収支予算案 (原案可決)  4) 役員改選 全員留任  5) 体験発表  「我が牧場の経営管理について」  発表者：清水町営育成牧場 場長 小川 宏 氏  「我が牧場の草地管理について」  発表者：標津町依橋大規模草地組合 場長 赤塚 弘幸 氏</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S56. 6	<p>6) 特別講演 「放牧牛の管理技術について」 講師：農林省北海道農業試験場 草地開発部 部長 新田 一彦 氏</p> <p>「酪農の諸情勢とその問題点について」 講師：酪農協会 小林 道彦 氏</p> <p>7) 草地管理技術指標策定内容提示 (社)日本草地協会より</p> <p>・ 公共育成牧場実務担当職員研修会開始 支庁単位で</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京大の福井教授、ノーベル化学賞受賞。</li> <li>・ 丸山ワクチンが有償治療薬として認められる。</li> <li>・ 千歳空港の国際化(千歳—成田—ホノルル)決定。</li> </ul>
S56. 9. 4～5	<p>・ 全道公共育成牧場長研修会 稚内市 参加者 108 名</p> <p>概要 1) 牧場紹介 紹介者：稚内大規模草地 場 長 篠崎 繁雄 氏</p> <p>2) 話題提供(2ブロックに分かれて討議) 我が牧場の預託料の設定と問題点、各牧場の資料及び公共育成牧場運営指標を中心に討議 座長：北海道専門技術員 今岡 久人 氏及び 天北農業試験場 藤田 保 氏</p> <p>3) 講 演 「酪農の現状と今後の展望について」(国政の流れから考えて) 講師：農林省畜産局自給飼料課 課長 高原 弘 氏 「牧野衛生について」 講師：北海道家畜衛生監 東海林 昌夫 氏</p> <p>4) 冷湿寒害による放牧牛事故の教訓について 報告者：豊富町大規模草地牧場 場 長 遠藤 拓雄 氏</p> <p>5) 賛助会員新製品等発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道産子のヨット「シーガル号」太平洋一周。小樽に帰港。</li> <li>・ 2月7日を「北方領土の日」閣議決定。</li> <li>・ 第2時臨時行政調査会(土光敏夫会長)が発足</li> <li>・ 鈴木首相が首相としては初めて北方領土視察。</li> <li>・ 国鉄石勝線千歳空港—新得間が開通。</li> <li>・ 北炭夕張新鉱でガス突出事故。死者・行方不明 93 名と戦後道内最大。</li> <li>・ 台湾で航空機墜落作家向田邦子ら日本人乗客死亡。</li> </ul>
S56. 10. 19～21	<p>・ 公共育成牧場経営指針策定調査会議 (S56～58) 東京都</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロッキード裁判「ハチのひと刺し証言」。</li> </ul>
S56. 11. 9～11	<p>・ 公共育成牧場実務職員技術研修会 中央畜産主催 日高</p> <p>概要 日高種畜牧場にて開催</p>	
S57. 3. 25～28	<p>・ 公共育成牧場経営指針策定調査中核牧場会議 東京都</p> <p>概要 白糠が北海道代表であったが議会開会中のため雄武町代理出席</p>	
S57. 4. 21～22	<p>・ 第 10 回定期総会 北海道自治会館 出席者 87 名</p> <p>概要 1) 昭和 56 年度 会務報告 決算報告 監査報告 (原案承認) 2) 会費の改正 正社員、賛助会員各 5 千円アップ (原案可決) 3) 昭和 57 年度 事業計画及び収支予算案 (原案のとおり可決) 4) 体験発表 「上士幌町育成牧場の経営戦略と牧場整備について」 公共牧場の経営が益々厳しさを増す情勢の中にあって牧場経営の長期的展望の整備の現状を紹介 発表者：上士幌町大規模草地育成牧場 牧場長 菊地 良治 氏</p> <p>5) 永年勤続職員表彰 (16 名)</p> <p>6) ブロック会議 わが牧場の経営戦略-この厳しい情勢の中にあって、いかに今後の展望を切り開くか。各牧場の資料をもとにして、周年牧場・夏期牧場に別れて意見の交換と討議する。</p> <p>7) 新製品紹介等 各賛助会員により</p> <p>8) 講演 「牛舎なしの酪農経営について」 (十勝の日高山麓の厳しい寒さの中で、平均乳量 7 トン以上、総乳量 500 トン以上で十勝第 1 位。牛の寒冷地に対する素晴らしい順応性と、牛舎なしによる生産原価の切り下げを見事に結びつけた実例を紹介) 講師：土谷特殊農機畜産研究室 研究員 長谷川 信美 氏</p>	
S57. 8. 4	<p>・ 公共育成牧場の広域預託利用に関する会議の開催</p> <p>概要 1) 府県が預託するねらい(足腰の強い後継牛の育成) 2) 道内公共牧場の広域預託の目的(冬期舎飼の安定化) 3) 広域預託の継続検討</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S57. 9. 2~3	<p>・ <b>牧場長会研修会</b>（浜中町） 出席者 107 名  概要 1) 講演  「今後の北海道畜産の課題と展望」（国政の流れから考えて）  講師：農林省畜産局自給飼料課 課長 高原 弘 氏</p> <p>「公共育成牧場の衛生問題と今後の対応」  豊富な経験と理論により道内公共牧場の地域的特徴・問題点等  その対応について明らかにする  講師：北海道釧路家畜保健衛生所 所長 佐藤 勝則 氏</p> <p>「北海道の公共牧場の現状と問題点は何か  その対応は何か全道的な資料によりいくつかの課題を考える」  講師：北海道農理整備課公共草地係 係長 藤本 孝一 氏</p> <p>「全道に先がけ土壌・飼料分析する農協技術センターを設置、科学的  酪農の確立を目指す浜中農協の目標・計画・到達点など苦労話を紹  介」  講師：浜中農協育成牧場 牧場長 益子 恒夫 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京・千代田区のホテル・ニュージャパンで火災。</li> <li>・ 日航機が羽田空港直前海面で墜落し 24 名死亡。</li> <li>・ 北海道日高地方で M7.3 の地震。</li> <li>・ 板橋地裁は、東邦亜鉛安中工場の農産物損害訴訟で公害裁判市場初めての企業の故意責任を認定。</li> <li>・ 500 硬貨発行。</li> <li>・ 東京地裁でロッキード事件政治家被告の初の判決公判。</li> <li>・ 大量リンチ殺人の連合赤軍事件で、殺人容疑等の元最高幹部に死刑判決。</li> <li>・ 東北新幹線（大宮—盛岡間）開業。</li> <li>・ 上越新幹線（大宮—新潟間）開業。</li> <li>・ 老人保健法公布。70 歳以上の医療無料化廃止。</li> <li>・ 中川一郎代議士が札幌パークホテルで死亡。</li> <li>・ 青函トンネル（53.9 キロ）の先進導坑が貫通。</li> <li>・ 日本初の実用静止通信衛星「さくら 2 号 a」の打ち上げ成功。</li> </ul>
S58. 2. 8	<p>・ <b>府県牛預託事業連絡協議会の設立</b>（牧場会に発足）  概要 府県牛預託事業連絡会役員牧場  1) 白糠町共同利用模範牧場（事務局）  2) 上士幌町大規模草地育成牧場  3) 雄武町幌内地区大規模草地育成牧場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人保健法公布。70 歳以上の医療無料化廃止。</li> </ul>
S58. 4. 28	<p>・ <b>第 11 回定期総会（自治会館）</b> 出席者 57 名  概要 1) 永年勤続職員表彰（11 名）  2) 昭和 57 年度 会務報告 決算報告 監査報告（原案承認）  3) 役員改選（現行役員全員留任）  4) 昭和 58 年度 事業計画及び収支予算案（原案可決）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中川一郎代議士が札幌パークホテルで死亡。</li> <li>・ 青函トンネル（53.9 キロ）の先進導坑が貫通。</li> <li>・ 日本初の実用静止通信衛星「さくら 2 号 a」の打ち上げ成功。</li> </ul>
S58. 9. 8~9	<p>・ <b>牧場長会研修会</b>（道主催）[沼田町] 五ヶ山地区共同利用模範牧場  概要 1) 講演  「わが国の畜産と自給飼料について」  講師：農林水産省 自給飼料課 課長 浅野九郎治 氏  「公共牧場の経営の近代化について」  コンピューターの導入による経営の近代化について、具体的にその方法を指導  講師：北海道 農務部 主任専門技術員 今岡 久人 氏  「北海道の牧野衛生について」  講師：北海道 農務部 家畜衛生監 長岡 宗二 氏  「わが牧場の牛肉生産と牧場経営について」  水田地帯での牛肉生産専門牧場、その苦労話を中心に牧場経営の内容を紹介する。  発表者：五ヶ山模範牧場 牧場長 畑中 四郎 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県浦安市に東京ディズニーランド開園。</li> <li>・ サラリーマンの金融規則 2 法 11 月 1 日施行。</li> <li>・ 銀行等の金融機関が初めて第 2 土曜日休日制を一斉に実施。</li> <li>・ 国鉄赤字ローカル線白糠線が 19 年の歴史閉じる。</li> <li>・ サラエボ五輪男子 500M スピードスケートで北沢欣浩（釧路北陽高校）2 位。</li> <li>・ 植村直己、世界初のマッキンリー冬季単独登頂に成功。下山途中で消息絶つ。</li> </ul>
S58. 11 下	<p>・ <b>公共牧場中堅職員技術研修会開催（道主催）</b>  概要 白糠、足寄、枝幸の 3 牧場で開催</p>	
S59. 2. 17	<p>・ <b>府県牛預託事業連絡協議会開催（札幌市）</b>  概要 不詳</p>	
S59. 3. 12	<p>・ <b>公共牧場運営指標策定会議（東京都）</b> 美幌 小林場長 浦幌 高橋場長参加</p>	
S59. 4. 17	<p>・ <b>農林関係の航空機の利用に関する会議</b> 標茶町出席</p>	



年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S59. 4. 24～25	<p>・ 第 12 回定期総会及び技術研修会（札幌市自治会館） 出席者 83 名</p> <p>概要 1) 永年勤続職員表彰（19 名）  2) 昭和 58 年度 会務・決算・監査報告（原案承認）  3) 昭和 59 年度 事業計画・予算案（原案可決）  4) その他 新会員紹介等 新得町営育成牧場加入  5) 体験発表  酪農王国といわれる北海道にあっても、その発展段階は、地域によってバラバラである、公共牧場の運営方法が、夫々の地域の特徴を反映することは勿論ですが、更に日本全国の酪農情勢を反映して、たくましく成長しようとしている生々しい体験を発表  発表者：雄武町 長尾鉄雄室長 標茶町 中川忠昭場長</p> <p>6) 講演  「公共牧場へのコンピューターの応用について」  公共牧場の経営において蓄積された情報を生かしきれない状況を解決するためのコンピューターソフト開発について  講師：北原電牧株式会社担当者  「寒試し天気予報について」  昭和 59 年度の暖候期の予想を、大正 2 年以來の 73 年間の研究を基礎にして発表。昨年のかつてない冷湿害の体験後だけに、その予想と対策は万全を期していきたいところ  講師：株式会社 扶相 松浦 元治 氏</p> <p>7) ブロック会議（25 日）  各牧場持参の資料に基づいて、3 ブロックに分かれて発表と討議。参加牧場相互に体験を話し合い、内容を深め合って明日への糧とした。また、各座長が内容を総括して発表。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道燃が高レベル放射性廃棄物施設を留萌管内幌延町に計画。</li> <li>・登別市内の工事現場で 4 万年前の化石林発見。日本最古。</li> <li>・日本、男女とも「世界一の長寿国」に（男 74. 20 歳。女 79. 78 歳。）</li> <li>・国鉄再建管理委が国鉄再建で分割・民営化を初めて明示。</li> <li>・函館ドック、造船不況の経営悪化で来島グループ入り。</li> <li>・厚生省、留萌管内小平町の「泰東丸」の遺骨収集開始。</li> <li>・「エリマキトカゲ」人氣過熱。</li> <li>・東京で地下の電話ケーブルが火災。オンラインが麻痺状態。</li> <li>・日本初の人工衛星「さきがけ」打ち上げ。</li> <li>・新風俗営業法発効。全国の盛場午前 0 時でネオンが消える。</li> <li>・世界最長（53. 85 km）の青函トンネル本坑が貫通。</li> </ul>
S59. 9. 6～7	<p>・ 夏期技術研修会（道主催）[浦幌町] 浦幌町共同利用模範牧場 出席者 107 名</p> <p>概要 1) 講演  「我が国の畜産と自給飼料について」  日本畜産の現状は欧米並みの生産価格を強く求められており、その対策はひとえに質量ともに優れた粗飼料を安価に生産することにある。国政レベルの視野で行政的な配慮を含めて解説  講師：農林水産省 自給飼料課 課長 浅野 九郎次 氏  「公共育成牧場中、数で 1/3、面積で 5 万 ha を有する北海道の公共牧場の今後」  今後の行政指導や支援を持つべき事も多く、そのカナメ的役割としての期待も大きい  講師：北海道農政部公共草地係 係長 藤本 孝一 氏  「公共育成牧場の衛生管理について」  北海道は地域的にも広いため、衛生管理についても地域的特色が存在し、その対応についても、広域性と地域的特徴との総合的な対策が求められている、公共牧場の預託事業を成功させる鍵の一つである家畜の衛生管理を全国的視野から解説。  講師：北海道農政部 家畜衛生監 長岡 宗二 氏  「公共育成牧場の再編整備と地域的広域利用について」  北海道の畜産もその発展段階は、地域によって様々であり、様の公共牧場を建設しても入牧状況もバラバラで、経営上の悩みも多いのが現状。何らかの経営的打開策を模索する市町村も多いなかにあって、全国的な視野に立って、その打開策を考える。  講師：北海道 首席専門技術員 今岡 久人 氏  「開催地の牧場紹介」  共同利用模範牧場として建設された牧場は、北海道で 10 牧場でその最後に建設された浦幌町共同利用模範牧場は経営面積でやや小さいものの最新の技術を結集した牧場で十勝平野の南端に位置し、海岸に面する地域的特徴を交えて紹介  講師：浦幌町共同利用模範牧場 牧場長 高橋 清忠 氏  「地域の畜産振興策としての公共牧場と畜肉加工技術について」  地域の畜産振興作は、それぞれの牧場が政策的課題として唱えているが、具体的に進めるには困難なことが多い、畜肉加工から販売についても面倒で難しい…という懸念が存在しているのではないか、各市町村の現状に合わせた加工技術とその販売技術が一步一步定着すれば地域の産業振興上の意義は大きい。最近の先端技術の到達した内容等にも触れながらその可能性について解説  講師：帯広畜産大学 農学博士 三浦 弘之 氏</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S60. 3. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府県牛預託事業連絡協議会開催（札幌市）</li> </ul>	
S60. 4. 17～18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林関係の航空機利用に関する会議 概要 東北・北海道ブロック会議（秋田市）[標茶 参加]</li> </ul>	
S60. 4. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術研修会開催（札幌市自治会館） 参加者 68 名 概要 1) 講演 「草地経営からみた更新整備の問題点と将来方向について」 土地基盤型の畜産経営にとって、草地の問題は最大の問題である。年次毎に厳しさを増す経済環境の中にあつて、豊富な経験と識見をもとにその問題点と将来の展望を示す。 講師：雪印種苗（株）常務取締役 三浦 梧桜 氏 「土壌・肥料をめぐる諸問題点と今後の対応等について」 単に肥料を製造し、従来の販売ルートにのせるシステムでは、近代農業の要求に対処することは不可能な時代である。今や肥料を造れば売れる時代ではない。その消費動向や関連する情報を素早くキャッチし、販売店から胸を張り自信を持って売れる商品価値の高い製品でなければならない。病める土壌という言葉が聞かされて既に久しい。その対策は…将来の展望は…豊富な経験と知識を生かして解説。 講師：日新化成工業（株）常務取締役 浜田 次人 氏 「北海道酪農をめぐる諸問題について」 北海道酪農をめぐる社会的・経済的環境は年々厳しさを増している。この厳しさに正しく対応するためには、それらの要因について正しく認識することから出発しなければならない。現状の問題点の解明から今後の展望等を含めて豊富な学識で論断する。 講師：帯広畜産大学 教授 西村 正一 氏 「草地をめぐる諸問題とその対応及び将来の展望等について」 草地の問題は、酪農の歴史の短い日本においては、むしろ今後の大きな課題だといえる。現在存在する問題点とは何か…その対策とは何か…今後の課題と展望は、どのように発展していくのか…先端技術の果たすであろう 21 世紀の技術展望とは…日夜その専門的学究の目を通して映し出される映像については私たちの期待するところは大きなものがある。 講師：農林水産省 北海道農業試験場 草地開発第一部 草地第一研究室 室長 名田 陽一 氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女雇用機会均等法成立。</li> <li>・ 尻岸内町が「恵山町」町名変更。</li> <li>・ 三菱大夕張鉱でガス爆発。62 人死亡。</li> <li>・ 日本電信電話会社（NTT）と日本たばこ産業株式会社が発足。</li> <li>・ 日本人初の宇宙飛行士に毛利衛北大助教授ら 3 人決まる。</li> <li>・ 本州と四国をつなぐ大鳴門大橋開通。</li> <li>・ 国鉄美幸線・手宮線廃止。</li> <li>・ 日航ジャンボ機が群馬県で墜落炎上。520 人死亡、4 人生存。</li> <li>・ 疑惑のロサンゼルス殺人事件の三浦和義逮捕。</li> <li>・ 雇用審議会が 60 歳定年制法制化を答申。</li> <li>・ 政府は、S60. 4 の「国鉄 6 分割・民営化」を決定。</li> <li>・ 札幌市第 1 回冬季アジア競技大会開催。</li> <li>・ 道燃、幌延町で高レベル放射性廃棄物施設の現地調査強行。</li> </ul>
S60. 4. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 13 回定期総会（札幌市自治会館） 概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（14 名） 2) 昭和 59 年度 会務・決算・監査報告（原案とおり承認） 3) 昭和 60 年度 事業計画・収支予算案（原案とおり可決） 4) 役員改選 新役員加藤、藤沢さん他現役員留任決定 5) その他 会加入分布図配布 正会員 59 牧場・賛助会員 36 社</li> </ul>	
S60. 8. 5～8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上京による意見交換会（農林水産省自給飼料課） 概要 功協牧場の当面の課題・対応する政策等について意見交換他、農林水産航空協会及び日本草地協会など訪問の実施</li> </ul>	
S60. 9. 5～6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏期秘術研修会（道主催）（標茶町） 出席者 169 名 概要 1) 講演 「我が国における粗飼料生産の現状と課題について」 講師：農林水産省自給飼料課 草地開発計画推進室 室長 丹野 務 氏 「ニュージーランドの草地管理について」 講師：北海道 酪農草地課 課長補佐 川越 裕作 氏 「東欧諸国を旅して」 講師：北海道川上郡標茶町 町長 阿部 悟郎 氏 2) 現地研修会 標茶町多和育成牧場及び弟子屈町営牧場衛生舎にて 3) 講演（2 日目） 「北海道酪農の将来展望と公共育成牧場の果たす役割について」 講師：北海道酪農協会 常務 市岡 英二 氏 「公共育成牧場の経営改善について」 講師：北海道農業改良課 主席専門技術員 今岡 久人 氏</li> </ul>	

<p>S61. 2. 27</p> <p>S61. 2. 28</p> <p>S61. 2. 28</p> <p>S61. 4. 22</p> <p>S61. 4. 23</p> <p>S61. 7. 24~27</p> <p>S61. 9. 2</p> <p>S61. 9. 3~4</p> <p>S62. 2. 27</p>	<p>・ 府県牛預託事業連絡協議会開催 酪農産業をめぐる経済環境の変化により、府県牛の北海道への預託希望増の傾向にある</p> <p>・ 農林関係の航空機利用に関する会議 年次毎に利用が減少傾向にあり、技術の発展と酪農産業に変化あり</p> <p>・ 昭和 61 年度農林水産航空事業ブロック会議 仙台市において開催（標茶町 中川場長出席）</p> <p>・ 技術研修会 概要 1) 指導及びお知らせ 公共育成牧場を巡る情勢・政策的課題について 北海道 農政部農地整備課公共草地係 係長 藤本 孝一 氏 2) 講演 「北海道における肉用牛利用型公共牧場のあり方」 牛乳生産の過剰による酪農産業の中にあつて、牛肉は不足の状況にありながらも思うように生産が伸びないのが実情である。肉牛の生産を公共牧場で…その可能性は？ 公共牧場の今後の戦略として位置付けられる方向性を探る 講師：農林水産省 北海道農業試験場 草地開発第 1 部 草地第 2 研究室 室長 手島 道明 氏 「21 世紀に対応する北海道の酪農経営と公共育成牧場」 牛乳生産過剰傾向・酪農経営者の高齢化と後継者難・輸入飼料の安価な供給・円高の傾向…等々、北海道の土地基盤型酪農経営をめぐる経済環境は益々厳しい。21 世紀をめざす北海道酪農の長期的展望は？その経営戦略は？ 公共牧場の長期展望とその位置付けは？豊富な学識により 21 世紀を探る。 講師：北海道大学 農学部 農業経営学科 農業開発論 教授 天間 征 氏</p> <p>・ 第 14 回定期総会（札幌市自治会館） 出席者 59 名 概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（16 名） 2) 昭和 60 年度 会務・決算・監査報告（原案とおり承認） 3) 昭和 61 年度 事業計画・収支予算案（原案とおり可決） 4) その他 昭和 60 年度は、酪農産業をめぐる経営環境の変化によって、公共牧場経営は、それぞれの地域の特徴等を反映させながら厳しさを増加させた年であった。懸案事項に対する関係機関の精力的な努力にもかかわらず諸問題が見送られて今後の政策的課題として残りました。</p> <p>・ 上京による意見交換会（農林水産省自給飼料課） 功協牧場の当面する諸課題について意見交換・政策的援助依頼・その他関係機関訪問</p> <p>・ 公共牧場をめぐる諸課題について意見交換会 訓子府町</p> <p>・ 夏期技術研修会（道主催）[訓子府町] 訓子府町共同利用模範牧場 出席者 138 名 概要 1) 講演 「北海道における牧野衛生について」 講師：北海道 農政部畜産課 家畜衛生監 本堂 勲 氏 「北海道における畜産（酪農）の将来展望について」 講師：北海道 酪農協会 専務理事 小林 道彦 氏 「これからの草地行政と公共牧場について」 講師：農林水産省畜産局自給飼料課長 山本 康太郎 氏</p> <p>・ 府県牛預託事業連絡協議会及び航空機利用による肥料散布会議開催 概要 府県牛預託事業連絡協議会 府県牛預託事業連絡協議会の預託動向（S60. 2. 1 現在） 白糠町共同利用模範牧場 132 頭 雄武長大規模草地育成牧場 447 頭 訓子府町共同利用模範牧場 49 頭 新得町営育成牧場 90 頭 足寄町大規模草地育成牧場 108 頭 釧路市北斗育成牧場 70 頭</p>	<p>・ 男女雇用機会均等法施行。 ・ 衆参同一選挙で自民大勝。 ・ 米、農産物 12 品目ガットに提訴。 ・ ソ連のチェルノブイリ原発で炉心溶融事故発生。 ・ 栗山町六価クロム訴訟、会社に賠償命令。 ・ 道と中国黒竜江省と有効提携に調印。 ・ 釧路地裁、梅田事件再審公判で梅田義光に無罪判決。無罪確定。 ・ 英国皇太子夫妻来日。 ・ 札幌市南区に芸術の森オープン。 ・ 北海道での初の日米共同統合実務演習。 ・ 道内 5 炭鉱の閉山にかかわる第 8 次石炭政策答申される。 ・ 伊豆大島の三原山噴火。島民全員脱出。 ・ 国鉄分割・民営化関連法案成立。</p>
--	---	--

<p>S62. 4. 22</p>	<p>天北東部地域大規模草地組合 73 頭 清水町営育成牧場 91 頭</p> <p>・ <b>技術研修会 北農健保会館</b> 出席者 70 名 概要 1) 各牧場よりの話題提供による討論会 ほとんどの公共牧場は、現在曲がり角にきているが、地域にあった新たな施策を取り入れ業務を展開していくことの重要性が確認された。</p> <p>2) 講演 「北海道酪農の課題について」 ①昭和 62 年度保証乳価引き下げの影響、②生産過剰化における酪農政策の選択問題、③チーズ生産振興基金制度をどう考えるか、④牛乳・乳製品の消費拡大運動について、⑤酪農産業の将来予測について、⑥成功的酪農経営になるために等々を解説 講師：北海道大学 農学部 教授 天間 征 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 北海道が業務開始。</li> <li>・ 東京で地価狂騰。</li> <li>・ 朝日新聞阪神支局に凶弾、記者 2 人死傷。</li> <li>・ 帝銀事件死刑囚、平沢貞通が獄中死。</li> <li>・ 林野庁、知床国有林で伐採強行。</li> <li>・ 層雲峡で大規模なガケ崩れ。3 人死亡。</li> <li>・ 三井石炭工業砂川炭坑閉山。</li> <li>・ 釧路湿原が国立公園に指定。</li> <li>・ 第 1 回北海道マラソン。ソ連勢がアベック優勝。</li> <li>・ 利根川進・マサチューセッツ工科大学教授にノーベル医学・物理学賞。</li> <li>・ NY 株式市場・史上最大の大暴落。</li> <li>・ 自転車レース第 1 回ツール・ド北海道開幕。</li> <li>・ 中曽根内閣総辞職し、竹下内閣誕生。</li> <li>・ 夕張の北炭真谷地炭坑閉山。</li> <li>・ 東海大四高バレー部、春の選抜・夏の高校総体・秋の国体と 3 冠。</li> <li>・ 岡本綾子、米女子プロゴルフツアーの賞金王。</li> <li>・ <b>農産物自由化反対十勝決起大会（約 1 万人の集会）</b></li> <li>・ 全日本民間労働組合連合会（連合）結成。同盟・中立労連解散。</li> </ul>
<p>S62. 4. 23</p>	<p>・ <b>第 15 回定期総会 北農健保会館</b> 出席者 58 名 概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（22 名） 2) 昭和 61 年度 会務・決算・監査報告（原案とおし承認） 3) 昭和 62 年度 事業計画・収支予算案（原案とおし可決） 4) 役員改選 現酪農情勢、あるいは北海道公共育成牧場運営協議会（仮称）への対応など組織強化を図る必要性があるため役員の 2 名増員が承認される。 （会長 1 名、副会長 1 名、幹事 8 名、監事 2 名） 1) その他 夏期研修会は豊富町で開催することを決定。</p>	
<p>S62. 7. 25</p>	<p>・ <b>関係機関挨拶及び夏期研修会講演依頼</b> 農林省 自給飼料課等 概要 要請活動内容 公共牧場の全般的な協力・支援・無利子融資制度等々 ほか 地全協補助の延長要請</p>	
<p>S62. 9. 3～4</p>	<p>・ <b>管理者研修会（道主催）</b> 豊富町 豊富町大規模草地育成牧場 出席者 125 名 概要 1) 講演 「肉用牛の現状と将来展望について」 講師：道立新得畜産試験場 主任研究員 清水 良彦 氏 「これからの草地行政と公共牧場について」 講師：農林水産省 畜産局自給飼料課 課長 吉岡 勝 氏 「健全な公共草地の草地管理について」 講師：農林水産省北海道農業試験場 草地開発第 1 部長 平島 利昭 氏 「牧場紹介について」 紹介者：豊富町大規模草地育成牧場 場長 太田 豊 氏</p> <p>2) その他 賛助会員：4 社新商品・新技術紹介</p> <p>3) 現地研修 豊富町大規模草地育成牧場視察</p>	
<p>S63. 2. 25</p>	<p>・ <b>農林関係の航空機利用に関する会議及び役員会</b> 北農健保会館</p>	
<p>S63. 2. 25</p>	<p>・ <b>北海道公共牧場実務担当者会議</b> 北農健保会館 出席牧場 38 牧場 概要 1) 協議事項 ・ 最近における公共牧場の預託動向について 減少傾向にあるため預託牛確保が最大の問題となっている ・ 当面する各牧場の諸問題と対策について 肉用牛の預託拡大、地域における広域預託の取り組み、牧場の多目的利用等々 ・ 最近における府県牛預託の動向と将来展望について 道内で 12 牧場 2,500 頭の府県牛が預託されているが、将来的には、新たな牧場が受け入れを検討している。（大樹町、美幌町、厚岸町等） ・ 今後の諸対策（国、道、牧場会等）についての要望事項</p> <p>2) その他 ・ 定期総会・春期研修会テーマ等、日程調整を協議</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S63. 4. 20	<p>・ <b>春期研修会</b> 北農健保会館 出席者数不明</p> <p>概要 1) 講演 「これからの公共草地の役割と草地管理技術の一考察について」 講師：十勝農業試験場 専門技術員 湯藤 健児 氏</p> <p>2) 賛助会員による新製品・新技術についての紹介</p> <p>3) テーマによる全体討議 テーマ1「牧場の公共性を生かすために」 パネラー：標茶町英育成牧場 中川場長 テーマ2「牧場の生産性を如何に生かせるか」 パネラー：上士幌町大規模草地育成牧場 中田場長 テーマ3「牧場の費用原価を如何に低減させるか」 パネラー：美幌町営牧場 小林場長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インド洋で南ア航空機墜落。159人死亡。</li> <li>・115人の大韓航空機がビルマ沖で消息絶つ。</li> <li>・青函連絡船終航。青函トンネル開業。</li> <li>・東京ドームがオープン。</li> <li>・中国の上海郊外で列車衝突。修学旅行中の高知学芸高教師・生徒28人死亡。</li> <li>・道教委・北教組交渉で主任制合意。</li> </ul>
S63. 4. 21	<p>・ <b>第16回定期総会</b> 北農健保会館 出席者 37牧場</p> <p>概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰(14名)</p> <p>2) 昭和62年度 会務・決算・監査報告(原案承認)</p> <p>3) 昭和63年度 事業計画・収支予算案(原案可決)</p> <p>4) 規約の一部改正(原案決定)</p> <p>5) 牛肉・乳製品などの農産物の輸入自由化と枠拡大阻止決議 決議案概要 我が国は、世界最大の食糧輸入国であるにもかかわらず、貿易不均衡を理由に無制限な農畜産物の自由化が行われようとしている。特に北海道は、我が国最大の食糧基地として大規模で生産性の高い農業を展開し、国民の食糧安定供給に重要な役割を担っているだけに、現状以上の農畜産物の市場開放は北海道農業とその関連産業に重大な打撃を与え、地域経済の崩壊につながるものが必須である。 公共牧場とのかかわりの深い牛肉・乳製品は、国家貿易管理関連の需要畜産物として、長期の国内需給計画を樹立し、生産振興や計画生産を実施している状況下にある。したがってこれらの目標を確実に達成することが、国民の望む安全で安価な安定した食糧供給を保障することとなる。更に、日本農業は国民の食糧生産のみならず、国土の有効的利用、自然環境の保全、そして日本文化の涵養等に重大な役割を果たしており、これらの破壊を見逃さずにはいられない。よって我々北海道公共牧場長会は、農業と農民の存立基盤を根底からゆるがす牛肉・乳製品など農畜産物の輸入自由化と枠拡大に絶対反対することを決議する。 昭和63年4月21日 北海道公共牧場長会</p> <p>6) 昭和62年度を振り返って 62年暮れから日米農作物交渉が活性化し、本道農業に暗い影を投げ先行き不透明な年明けであった。仔牛価格の高騰、初妊牛の価格も史上最高となった1年であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界・食の祭典」が札幌で開催。85億円赤字。</li> <li>・JR歌志内線、96年の歴史に幕。</li> <li>・青函博覧会が函館・青森で開催。</li> <li>・新千歳空港がオープン。</li> <li>・北海道第5の民放「テレビ北海道」設立。</li> <li>・北電の泊原発力発電所が試運転開始。</li> <li>・本州と四国を結ぶ瀬戸大橋開通。</li> <li>・「リクルート」非公開株の譲渡で、多数の政治家・官僚が売却益。</li> <li>・横須賀沖で海上自衛隊の潜水艦が釣り船に衝突。乗客30人死亡。</li> <li>・米大統領選で、共和党のブッシュ候補圧勝。第41代大統領に。</li> <li>・札幌・地下鉄「東豊線」開業。</li> <li>・昭和天皇・皇居吹上御所で崩御。皇太子明仁親王即位。元号は「平成」に。</li> <li>・十勝岳・26年ぶりに噴火。</li> <li>・消費税導入を柱とした税制改革関連法案、成立。</li> </ul>
S63. 7. 18~20	<p>・ <b>関係機関挨拶及び夏期研修会講演依頼</b> 農林省 自給飼料課等(石井会長、中川副会長対応)</p> <p>概要 ・夏期研修会講演依頼・政策要請活動・関係機関挨拶等々</p>	
S63. 8. 26	<p>・ <b>釧根地区公共牧場ブロック会議(第1回)開催</b> 標茶町</p> <p>概要 14牧場参加(21名)</p> <p>1) 講演 「牧場の当面する課題について」 「草地の簡易更新技術について」 講師：帯広畜産大学 助教授 大原 洋一 氏 ：北海道開発局 釧路開発建設部 北倉 公彦 氏 「開発局への要望」 1. 草地整備改良の国営化 2. 事業実施方法の改善</p> <p>2) 現地研修 標茶町営育成牧場多和団地</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
S63. 9. 2～3	<p>・ <b>管理者技術夏期研修会</b> 帯広市 帯広市八千代公共育成牧場 出席者 133名  概要 1) 講演  「公共草地の簡易更新について」  講師：帯広畜産大学 草地生態学 助教授 丸山 純孝 氏  「これからの草地行政と公共牧場について」  講師：農林水産省畜産局自給飼料課 室 長 千葉 寿夫 氏  「北海道畜産の将来方向について」  講師：帯広畜産大学畜産経営学 教 授 久保 嘉治 氏  2) 賛助会員による新技術・製品紹介  3) 牧場紹介（帯広市八千代公共育成牧場）  紹介者：帯広市役所 畜産課 菅雅係長</p>	
S63. 11	<p>・ <b>公共草地に係わる基盤整備に対する要望書の提出</b>  概要 提出先 北海道草地協会等</p>	
H1. 1. 10～12	<p>・ <b>全国公共牧場放牧利用広域促進事業調査</b> 東京都  概要 農林水産省打合わせ 会長出席</p>	
H1. 1. 24～25	<p>・ <b>十勝地区公共牧場ブロック会議開催</b> 十勝川温泉（第1回）  概要 9 牧場参加</p>	
H1. 2. 28	<p>・ <b>府県牛預託担当者会議</b> 北農健保会館  概要 1) 府県牛預託の現状と動向及び問題点について  2) 公共牧場広域利用の諸問題について 等々</p>	
H1. 4. 18	<p>・ <b>春季研修会</b> 北農健保会館 出席者 89名  概要 1) 講演  「公共育成牧場における疾病発症のプログラムとその対策」  講師：道立新得畜産試験場研究部衛生科科长 米道 裕弥 氏  2) 話題提供  「わがまちの畜産振興とその戦略について」  話題提供者：平取町（平取町畜産公社） 係長 西尾勝美 氏  「わが牧場の経営戦略について」  話題提供者：阿寒町営育成牧場 牧場長 岡田 東洋男 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR天北線・名寄本線歴史に幕。</li> <li>・ 消費税スタート。</li> <li>・ ふるさと銀河線（北見一池田間 140 キロ）開業。</li> <li>・ 国内初の湿原サミット（釧路）で水鳥の保護など「釧路宣言」を採択。</li> <li>・ 竹下首相、リクルートで引責、退陣表明。</li> <li>・ 宇野宗佑新内閣誕生。</li> <li>・ 北電泊原発 1 号機営業運転開始。</li> <li>・ 北京・天安門広場で軍が発砲。学生・市民ら 2600 人が死亡。</li> <li>・ イランの最高支持者ホメイニ師が死亡。</li> <li>・ 戦後「歌謡界の女王」美空ひばりが死亡。52 歳。</li> <li>・ 海部俊樹内閣誕生。</li> <li>・ 道議会は、脱スパイク推進条例を可決。成立。</li> </ul>
H1. 4. 19	<p>・ <b>第 17 回定期総会</b> 北農健保会館 出席者 89名  概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（20名）  2) 昭和 63 年度 会務・決算・監査報告（原案承認）  3) 平成 1 年度 事業計画・収支予算案（原案可決）  4) 役員改選（12名）  選考委員会より、十勝・釧根を減員し、北綱から選出  会長中川（標茶町）、副会長赤塚（標茶町）、上谷（清水町）  5) その他</p>	
H1. 7. 18～19	<p>・ <b>在京関係機関挨拶、要請</b> 東京都 会長対応</p>	
H1. 8. 22～23	<p>・ <b>夏期研修会</b> 士別市プリンスホテル 出席者 127名  概要 1) 講演  「公共草地の整備改良と今後の方向性について」  講師：帯広畜産大学 草地科 助教授 大原 洋一 氏  「観光牧場の条件と整備の方法について」  講師：（株）たくぎん総合研究所 主任研究員 伏島 信治 氏  「最近の畜産をめぐる情勢と今後の草地行政のあり方について」  講師：農林水産省畜産局自給飼料課 課 長 鎌田 啓二 氏  「平成元年新規事業の実施について」  講師：（社）北海道草地協会  常務理事兼事務局長 山本 幸三 氏</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
	2) 賛助会員による新技術・製品紹介 3) 現地研修会 紹介者：土別めん羊牧場 金井八洲俊 氏 土別市大和牧場 山賀 英次 氏	
H1. 10. 4	・地方競馬全国協会の畜産振興補助事業の見直しについて 概要 要望書提出先 地全協、農林水産省、道庁農政部	
H1. 12. 6	・道公共牧場利用促進委員会幹事会 ポールスター 会長対応 概要 牧場活性化基本方針素案、他	
H2. 2. 2	・道公共牧場利用推進委員会 ポールスター 会長対応 概要 牧場活性化基本方針素案、他	
H2. 2. 22	・専門ブロック会議 道庁赤レンガ 概要 広域牛受託事業担当者会議及びヘリ散布事業打合せ 30名参加	
H2. 4. 18	・春季研修会 北農健保会館 出席者 73名 概要 1) 話題提供 「公共牧場における預託牛の安全確保について」 預託頭数不足の原因とその対策 話題提供者：標茶町 中川忠昭 氏 広域牛受託の現状と課題 話題提供者：美幌町 小林道臣 氏 預託過剰問題と地域間調整について 話題提供者：浜中農協 益子恒夫 氏 「受託牛の家畜生産性向上と損耗防止について」 育成牧場における多発症病と基本技術について 話題提供者：土別市 山賀英治 氏 牧場内の予防治療体制と家畜共済制度のあり方について 話題提供者：雄武町 土田 功 氏 授精業務の効率化と受胎率向上について 話題提供者：上士幌町 中田 和広 氏	・後志管内泊村の北電泊原 発 2 号機試運転スタート。 ・戦後初の択捉島上陸含む 北方墓参団の第 1 陣 67 人が根室港を出発。 ・札幌医大で大やけど治療 中のコンスタンチンち ゃんの皮膚移植手術。 ・南米ペルーの大統領選で 日系 2 世フジモリが当 選。 ・スパイクタイヤ規制法が 成立。 ・日本人の平均寿命が男 75.91 歳、女 81.77 歳で 世界記録更新。 ・道央自動車道の深川ー旭 川鷹栖間が開通。旭川と 札幌が高速道路で直結。 ・東西ドイツは分断後、41 年ぶりに国家統一。東ド イツは西ドイツに編入。 ・自主流通米の初入れ「き らら 397」の人氣急騰。 ・北朝鮮に抑留 7 年間の「第 18 富士山丸」の紅粉勇船 長らが帰国。 ・日本電工旧栗山六価クロ ム訴訟で、札幌高裁で和 解勧告。13 年ぶり決着。 ・天皇陛下の即位の礼。 札幌ユニバーシアード 冬季大会。34 カ国、1100 人 参加で開幕。 ・多国籍軍がイラク攻撃を 開始。 ・環境庁は、スパイクタイ ヤ使用禁止区域に札幌 圏指定。
H2. 4. 19	・第 18 回定期総会 北農健保会館 出席者 52 名 概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰 2) 平成 1 年度 会務・決算・監査報告（原案承認） 3) 平成 2 年度 事業計画・収支予算案（原案可決） 4) その他 組織強化に関する課題について 各牧場利用促進計画の作成について 広域牛受託事業に係るガイドラインの設定について 夏期研修会（公共牧場管理者研修会）開催地について 開催地 弟子屈町（観光文化センター） 9 / 4 ~ 5 現地視察 弟子屈町営育成牧場、美幌峠牧場 新規加入牧場 平成元年 宗谷畜産開発公社、三石町営牧場 平成 2 年 大野町公共育成牧場（役場高橋）	
H2. 7. 10~11	・在京関係機関挨拶、要請 東京都 会長及び副会長対応 概要 日本草地協会、中央畜産会、地全協、農林水産省等	
H2. 9. 4~5	・管理者研修会 摩周観光文化センター 出席者 190 名 概要 1) 講演 「国際情勢と畜産政策の推進方向について」 講師：農林水産省畜産局草地開発計画推進室 室長 安武 正秀 氏	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
	<p>「放牧牛の管理施設について」  講師：北海道立中央農業試験場 畜産部長 清水 良彦 氏</p> <p>2) 研究討議  &lt;&lt;どうする 功協牧場の活性化&gt;&gt;をメインテーマとし分科会区分サブテーマ  (牧場の安定経営を図るために)  司会：北海道総括専門技術員 船本 末雄 氏  (牧場の預託効果を高めるために)  司会：北海道総括専門技術員 橋立 賢二郎 氏</p> <p>3) 現地研修  弟子屈町営牧場及び美幌峠牧場</p>	
H2. 10. 3~4	<p>・道北地区ブロック会議（第1回）開催 稚内市 出席者 48名  概要 1) テーマを付けて全体討議等</p>	
H2. 10. 11	<p>・道機構改革に関する要請 会長対応 札幌市</p>	
H2. 10. 12	<p>・公共牧場利用推進委員会幹事会 会長対応 札幌市  概要 各種事業推進について</p>	
H2. 12. 6	<p>・公共牧場利用水産委員会幹事会 会長対応 札幌市  概要 平成3年度 地全協補助事業について</p>	
H2. 12. 14	<p>・公共牧場利用推進委員会 会長対応 札幌市  概要 平成3年度 地全協補助事業について</p>	
H3. 2. 20~21	<p>・公共牧場中堅職員研修会 道主催帯広市（十勝農協連ビル）  概要 不詳</p>	
H3. 2. 22	<p>・専門ブロック会議開催 札幌市 出席者 35名  概要 ヘリ散布事業及び公共牧場の機能強化について協議する。</p>	
H3. 2. 25~26	<p>・公共牧場中堅職員研修会 道主催札幌市（北農健保会館）  概要 不詳</p>	
H3. 3. 22	<p>・公共牧場高度利用推進事業中央検討会 東京都 会長対応</p>	
H3. 4. 25	<p>・春季研修会 札幌市第2水産ビル 出席者 87名  概要 1) 会員間討議（テーマにより座長赤塚副会長）  「公共牧場の夏と冬・その悩み」  話題提供者：幌延町 上田蜜春場長  話題提供者：釧路市農協 池田昭一場長  2) 賛助会員による新技術・商品紹介  3) 講演  「北海道がめざすべき新しい農村の姿」  （一農村はすべての人のために）  講師：(社)北海道土地改良設計技術協会  農村地域研究所 主任研究員 佐々木 寅雄 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北電泊原発2号機営業運転を開始。</li> <li>・ペルシヤ湾の機雷除去に海上自衛隊の掃海艇6隻が出港。自衛隊発足以来初の海外派遣。</li> <li>・長崎県島原半島の雲仙・普賢岳の地獄跡火口が噴火「火砕流」が発生。41人死亡。</li> <li>・劇団四季のミュージカル「キャッツ」がJR札幌駅旧構内の特設劇場で開幕。</li> <li>・北洋サケ・マス漁の旧母船式独航船26隻が函館港から出港。公海で最後の操業。</li> </ul>
H3. 4. 26	<p>・第19回定期総会 札幌市第2水産ビル 出席者 55名  概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（22名）  2) 平成2年度 会務・決算・監査報告（原案承認）  3) 平成3年度 事業計画・収支予算案（原案可決）  4) 組織強化に関する検討（案）により（アンケート結果）  ・会の名称について・構成員の規定について・会費について  ・活動内容について 等々  5) 役員改選（選考委員会により）3役は同様  会長中川（標茶町）、副会長赤塚（標津町）、上谷（清水町）</p>	



年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H3. 6. 10	<p>6) その他 夏期研修会の開催地 雄武町を予定 新会員紹介 足寄開拓農協、釧路市新野牧場</p> <p>・北海道公共牧場管理運営検討会 札幌市 会長他4名対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上砂川町で旧三井砂川炭坑の立て坑を利用した無重力実験センターがオープン。</li> <li>・ワルシャワ条約機構解体。</li> </ul>
H3. 7. 22～23	<p>・在京関係機関挨拶、要請 東京都 会長対応 概要 日本草地協会、中央畜産会、地全協、農林水産省等訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京女子医大で国内初の脳死肝移植手術実施。</li> </ul>
H3. 9. 5～6	<p>・管理者研修会 雄武町 出席者180名 概要 1) 講演 「国の予算をとりまく情勢について」 最近の畜産情勢や国の予算資料に基づいてわかりやすく説明された。この中で以前より牧場長会から要望していた、融資制度の新設について、具体的な検討が入っていることが示された。また、今後の公共牧場のあり方については、牧場の本来機能の拡充が畜産経営の低コスト化、国際化に不可欠であり、さらにふれあい機能の充実や公共牧場の組織化が、必要であることを強調された。 講師：農林水産省畜産局自給飼料課 室長 安武 正秀 様 「世界、日本、北海道の酪農情勢について」 酪農情勢は常に浮き沈みがあり、短期的な情勢に惑わされることなく、長期的な展望を持って対処することの重要性を説かれた。さらに酪農に携わる者の酪農に取り組む姿勢、すなわち酪農哲学の有無が、今後を生き抜くための鍵であることを、豊富な経験に基づいて講演された。 講師：北海道酪農協会 専務理事 小林 道彦 氏</p> <p>2) シンポジウム(司会中川会長) 「公共牧場の公共性と企業性について」 公共牧場がかかえる問題点と課題は山積しているが、時代や地域のニーズに答えるためには、公共性と企業性を調和させることが最も重要であるとの視点から、参加者の自由な発言、提言を出し合い、今後の展開方法を考える一助とした。</p> <p>4) 現地研修会(雄武町大規模草地育成牧場)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北大医学部の倫理委は、生体部分肝移植手術を承認(2歳男児に道内第1号の手術)</li> <li>・北海信金と長万部信金が合併。新生「北海信金」が誕生。</li> <li>・国道274号線(札幌一帯 210.1キロ)が、着工以来26年目で全面開通。</li> <li>・国連総会が南北朝鮮、バルト3国など7カ国の国連加盟を正式承認。</li> <li>・政府はウトナイ湖のラムサール条約登録湿地指定を決定。</li> <li>・最高裁は、首相らの靖国神社公式参拝は「違憲」との判断が確定。</li> <li>・エゾシカの農林業被害、20億円を超え史上最高。</li> </ul>
H3. 12. 10	<p>・草地管理指標【改訂版】 全会員へ配布</p>	
H3. 12. 19	<p>・北海道公共牧場管理運営検討会 札幌市 小林他3名対応</p>	
H4. 1. 7	<p>・北海道公共牧場長会加入案内実施 103団体へ</p>	
H4. 1. 30	<p>・全国ふれあい牧場運営推進検討会 東京都 会長他2名対応</p>	
H4. 2. 24～29	<p>・北海道公共牧場パネル展 札幌市 道庁道民ホール 概要 期間中の入場者 約1,900人</p>	
H4. 2. 25	<p>・専門ブロック会議 札幌市 出席者33名 概要 ヘリ散布・広域受託事業他</p>	
H4. 3. 9	<p>・全国ふれあい牧場運営推進委員会 東京都 会長他2名対応</p>	
H4. 4. 21	<p>・春季研修会 札幌市 かでる2・7 出席者70名 概要 1) 会員間討議(平成2年度の牧場運営実績に基づいて) 「公共牧場で応用しうる新技術・製品について」 話題提供者：賛助会員有志より 2) 講演 「消費者から見た公共牧場の活性化について」 講師：大丸物産株式会社 社長 新道喜久治 氏</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H4. 4. 22	<p>「フリーストール牛舎と乳牛の群管理について」 講師：酪農学園大学 酪農学科 教授 西 進 氏</p> <p>・第20回定期総会 札幌市 かでる2・7 出席者40名 概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰(19名) 2) 平成3年度 会務・決算・監査報告(原案承認) 3) 平成4年度 事業計画・収支予算案(原案可決) 4) 北海道公共牧場長会20周年記念事業について概要説明 5) 夏期研修会について(黒松内町予定) 6) 新会員紹介(広尾町、紋別市) 7) 役員紹介〔人事異動による役割分担再編〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土からのビザなし渡航の第1陣が根室・花咲港に到着。</li> <li>・札幌で第1回よさこいソーラン祭りが開催。10チーム・1000人が参加。</li> <li>・在日韓国人らの指紋押などを廃止する改正外国人登録法が成立。</li> <li>・新千歳空港の新旅客ターミナルビル開業。</li> <li>・「道金属じん肺訴訟」で最多の原告(61人)を抱える住友金属鉱山との間で和解が成立。</li> <li>・ほくさんと大同酸素が対等合併を発表。</li> <li>・旧日本軍の従軍慰安婦問題で、政府が軍の全面関与を公式に認める。</li> <li>・芦別市の三井石炭鉱業芦別鉱が53年間の歴史に終止符。</li> <li>・札幌自動車道、札幌一小樽間38.8キロの全線が完成。</li> <li>・十条製紙と山陽国策パルプが合併契約に調印。新社名は「日本製紙」。</li> <li>・毛利衛らが乗った米スペースシャトル「エンデバー」が打ち上げられる。</li> </ul>
H4. 5. 13	<p>・在京関係機関挨拶、要請 東京都 会長対応</p>	
H4. 9. 3~4	<p>・管理者研修会 黒松内町 参加者170名 概要 1) 講演 「新農業施策と公共牧場について」 講師：農林水産省畜産局 自給飼料課 課長 安武 正秀 氏 「ニュージーランドの畜産事情について」 講師：池田町大規模草地育成牧場 係長 中谷 実 氏 「明日のリーダー像について」 講師：KKアールデージー 代表取締役 中尾 光弘 氏 「公共牧場利用促進上の諸問題の改善方向について」 講師：日本草地協会 技術主幹 手島 道明 氏 2) 現地研修会 黒松内町営牧場、西東牧場、黒松内町手づくり加工センター 歌才森林公園</p>	
H4. 11. 11	<p>・全国ふれあい牧場協議会 東京都 会長対応</p>	
H4. 12. 2	<p>・在京関係機関要請活動 東京都 会長他4名対応 概要 道営公共牧場整備事業の創設に係る要望書提出</p>	
H4. 12. 3	<p>・北海道公共牧場高度利用推進委員会 会長対応</p>	
H5. 2. 4	<p>・北海道公共牧場長会20周年記念誌発刊 概要 記念誌全会員へ配布</p>	
H5. 2. 23	<p>・専門ブロック会議 札幌市 出席者43名 概要 広域牛受託事業・各牧場の雇用待遇条件について他</p>	
H5. 4. 21	<p>・春期研修会 札幌市 かでる2・7 出席者67名 概要 1) 「公共草地のいい管理について」 公共草地の維持管理の基本的な考え方と柔軟な対応、新しい草地管理技術、環境を守る視点、牧場や地域活性化に不可欠な人間関係について講演された。 講師：根釧農業試験場 土壌肥料科長 能代 昌雄 氏 「厳しく見つめ楽しく実践」 長い人生、経験や実践を背景にした人生観や日常生活の生き方、仕事への対応などについて、話題豊富におもしろく講演された。 講師：特産興業 代表取締役(元南茅部町長) 佐藤 貞勝 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境庁は、ラムサール条約登録湿地に霧多布湿原、厚岸湖、別寒辺牛湿原の追加指定を正式決定。</li> <li>・最高裁は、「家永教科書裁判第1次訴訟」で、文部省の教科書検定制度について「合憲」と初の判断。</li> </ul>
H5. 4. 22	<p>・第21回定期総会 札幌市 かでる2・7 出席者46名 概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰(15名) 2) 平成4年度 会務・決算・監査報告(原案承認)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活工房・サッポロファクトリー」がオープン。</li> </ul>

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H5. 6. 16	3) 平成5年度 事業計画・収支予算案（原案可決） 4) 役員改選（5名の選考委員により） 新会長 鶴見利司氏（池田町） 5) 夏期研修会開催地（標津町開催予定） 6) その他（会員名称変更） 上士幌町大規模草地育成牧場が上士幌ナイタイ高原牧場へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラムサール条約締結国会議が世界107カ国から約400人が参加し釧路市内で開幕。</li> <li>・皇太子「結婚の儀」</li> <li>・道内初の「顕微授精」治療でスタートした旭川医大で、妊娠例2例を確認。</li> </ul>
H5. 9. 2～3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>在京関係機関挨拶、要請</b> 東京都 会長対応                概要 農林水産省自給飼料課、地全協、中央畜産会、日本草地協会訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マグニチュード7.8の「北海道南西沖地震」が発生。死者201人、行方不明29人、負傷者305人。</li> </ul>
H5. 10. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>公共牧場管理者研修会</b> 標津町農村環境改善センター 出席者150名                概要 1) 講演                    「草地畜産と畜産環境について」                    講師：農林水産省畜産局自給飼料課 草地開発計画推進室 室長 中川 秀次 氏                    「公共牧場における育成牛の管理について」                    講師：根釧農業試験場 専門技術員 田中 義春 氏                    「職場の魅力づくりについて」                    講師：(社)日本経営協会経営コンサルタント (株)スペース・イン・ユニ代表取締役 中山 一司 氏                    「標津農業の概要と標津俵橋大規模草地について」場長 赤塚 弘幸 氏                2) 現地研修会                    標津俵橋大規模草地・標津サーモンパーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際先住民年を記念して、世界11カ国27の先住民族約60人が参加し、「二風谷フォーラム」が開幕。</li> <li>・ インド・ヒマラヤのニルカンダ峰で帯広の登山隊遭難、6人不明。</li> <li>・ <b>戦後最大の冷害被害。1974億円と道が発表。</b></li> </ul>
H5. 11. 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>北海道公共牧場々長会への入会案内送付</b>                概要 各支庁長名で各市町村長へ送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非自民連立各党による細川護熙新内閣誕生。</li> </ul>
H6. 2. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>五ヶ山地区共同利用模範牧場組合創立20周年記念式</b>                概要 記念式に向けて祝電対応</li> </ul>	
H6. 4. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>専門ブロック会議</b> 札幌市 出席者44名                概要 1) 講演                    「ファームコントラクターの現状について」                    講師：道農政部酪農畜産課飼料課 係長 佐々木 弘 氏                2) 協議事項                    公共牧場の雇用・待遇条件等について                    へり肥料散布事業について</li> </ul>	
H6. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>春期研修会</b> 札幌市 かでる2・7 出席者73名                概要 1) 講演                    「一行政職員の内情」                    講師：占冠村 助 役 宮田 久 氏                    「牧野衛生について」                    講師：石狩家畜保健衛生所 専門員 附田 孝一 氏</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第22回定期総会</b> 札幌市 かでる2・7 出席者58名                概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（26名）                    2) 平成5年度 会務・決算・監査報告（原案承認）                    3) 平成6年度 事業計画・収支予算案（原案可決）                    4) 道営公共牧場整備事業に関する要望                        ①事業枠の拡大                        ②事業内容の決定にあたって全体の整備を目標とするという当初の事業主旨を尊重すること                        ③事業規模については、地域性を考慮し柔軟に対応すること                        ④地区選定にあたっての公平化                        ⑤今後の事業推進にあたっては、牧場長会との連絡を密にすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 羽田内閣誕生。</li> <li>・ 名古屋国際空港で、中華航空エアバス機墜落、炎上。264人死亡。</li> <li>・ 函館ーユジノサハリンスク定期航空路第1便が周航。</li> <li>・ 南極海に捕鯨、全面禁止。</li> <li>・ 新千歳空港24時間運用体制に。</li> </ul>

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H6. 5. 11	<p>5) 海外視察研修への支援体制について            ニュージーランドファーム研究会が企画した第 8 回ニュージーランドスタデーツアー（ガラガーエイジ）に対する協力要請については、第 1 回役員会で協賛の形で協力することが決定され総会においても承認された結果をふまえ、今後においても賛助会員等から同様の要請があった場合、牧場長会協賛で協力することが承認された。</p> <p>6) 夏期研修会開催地について（池田町予定）</p> <p>7) 牛乳消費拡大を各地において積極的に取り組む</p> <p>8) その他（会員数）正会員 67 牧場 賛助会員 36 団体</p> <p>・ <b>地全協畜産振興補助事業対策会議</b> 札幌市 かでる 2・7 18 牧場参加            概要 道農地整備課 公共草地 杉谷係長の事業の実態説明            地全協の事業主旨の変革により従前の補助が難しい状況であり、課題等が示され、今後の対応として対策チームを編成して課題打開に向けて取り組むこととなる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村山富市社会党委員長の 新首相誕生。</li> <li>・ 松本市の住宅街で有毒ガス発生、7 人死亡 59 人重 軽傷（松本サリン事件）</li> <li>・ 萱野氏が衆議院議員。ア イヌ民族では、初の国会 議員。</li> <li>・ 日本初の助成宇宙飛行 士、向井千秋が宇宙へ出 発。</li> <li>・ 村山首相が、「自衛隊合 憲」表明。社会党の「非 武装中立論」の放棄を名 言。</li> <li>・ 香華で、現金輸送車が襲 われ 5 億 4100 万円強奪。 史上最高の被害額。</li> <li>・ 道内で記録的な猛暑。 津別町～37.7 度 札幌市～36.2 度と観測 史上最高を記録。</li> </ul>
H6. 6. 8	<p>・ <b>地全協畜産振興補助事業検討委員会設置</b>            概要 検討委員会構成メンバー            委員長 有路哲雄（天塩町）、副委員長 野田哲治（浜中町農協）            委員 町田 哲（中札内村）、川久保（帯広市）、大橋和政（美幌町）            池田裕二（標茶町）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西国際空港が開港。日 本初の本格的な海上空 港。</li> <li>・ 釧路で震度 6 の「北海道 東方沖地震」。道東を中 心に負傷者 330 人を超え る。</li> <li>・ ノーベル文学賞に大江健 三朗氏。</li> <li>・ ミニヤコンガで北大 O B ら 4 人遭難。</li> <li>・ 種痘禍訴訟の差し戻し審 で原告が全面勝訴。</li> <li>・ 新進党結成。海部元首相 が初代党首に。</li> <li>・ 札幌大、受託研究めぐり 不祥事。研究名目で総額 約 2 億 3000 万円の報酬。</li> <li>・ 歌志内の空知炭鉱が 105 年の歴史に幕。</li> <li>・ 兵庫県南部で大地震（阪 神・淡路大震災）。 死者 6432 人。家屋の全 半壊 20 万戸。</li> <li>・ 東京都心部の営団地下鉄 で（サリン）がまかれ、 11 人が死亡。</li> <li>・ オウム真理教を強制捜 査。</li> </ul>
H6. 6. 14	<p>・ <b>道営公共牧場整備事業に係る打ち合わせ会議</b> 札幌市            概要 総会決定要望を協議する            参集者 農地整備課（4 名） 牧場長会（4 名）で意向確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道東を中 心に負傷者 330 人を超え る。</li> <li>・ ノーベル文学賞に大江健 三朗氏。</li> <li>・ ミニヤコンガで北大 O B ら 4 人遭難。</li> <li>・ 種痘禍訴訟の差し戻し審 で原告が全面勝訴。</li> <li>・ 新進党結成。海部元首相 が初代党首に。</li> <li>・ 札幌大、受託研究めぐり 不祥事。研究名目で総額 約 2 億 3000 万円の報酬。</li> <li>・ 歌志内の空知炭鉱が 105 年の歴史に幕。</li> <li>・ 兵庫県南部で大地震（阪 神・淡路大震災）。 死者 6432 人。家屋の全 半壊 20 万戸。</li> <li>・ 東京都心部の営団地下鉄 で（サリン）がまかれ、 11 人が死亡。</li> <li>・ オウム真理教を強制捜 査。</li> </ul>
H6. 7. 27	<p>・ <b>在京関係機関挨拶、要請</b> 東京都 会長他 2 名対応            概要 農林水産省自給飼料課、地全協、中央畜産会、日本草地協会訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道東を中 心に負傷者 330 人を超え る。</li> <li>・ ノーベル文学賞に大江健 三朗氏。</li> <li>・ ミニヤコンガで北大 O B ら 4 人遭難。</li> <li>・ 種痘禍訴訟の差し戻し審 で原告が全面勝訴。</li> <li>・ 新進党結成。海部元首相 が初代党首に。</li> <li>・ 札幌大、受託研究めぐり 不祥事。研究名目で総額 約 2 億 3000 万円の報酬。</li> <li>・ 歌志内の空知炭鉱が 105 年の歴史に幕。</li> <li>・ 兵庫県南部で大地震（阪 神・淡路大震災）。 死者 6432 人。家屋の全 半壊 20 万戸。</li> <li>・ 東京都心部の営団地下鉄 で（サリン）がまかれ、 11 人が死亡。</li> <li>・ オウム真理教を強制捜 査。</li> </ul>
H6. 9. 2～3	<p>・ <b>公共牧場管理者研修会</b> 池田町田園ホール 出席者 152 名            概要 1) 講演            「国際化に対応した草地畜産について」            講師：農林水産省畜産局自給飼料課 課長 安武 正秀 氏            「微生物を利用した有畜農業の展開について」            講師：帯広畜産大学生物資源科学科 教授 中野 益男 氏            「公共牧場の草づくりについて」            講師：道立十勝農業試験場 主任専門技術員 湯藤 健治 氏            2) 現地研修会（池田町大規模草地育成牧場）            紹介者：池田町大規模草地育成牧場 場長 鶴見 利司 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道東を中 心に負傷者 330 人を超え る。</li> <li>・ ノーベル文学賞に大江健 三朗氏。</li> <li>・ ミニヤコンガで北大 O B ら 4 人遭難。</li> <li>・ 種痘禍訴訟の差し戻し審 で原告が全面勝訴。</li> <li>・ 新進党結成。海部元首相 が初代党首に。</li> <li>・ 札幌大、受託研究めぐり 不祥事。研究名目で総額 約 2 億 3000 万円の報酬。</li> <li>・ 歌志内の空知炭鉱が 105 年の歴史に幕。</li> <li>・ 兵庫県南部で大地震（阪 神・淡路大震災）。 死者 6432 人。家屋の全 半壊 20 万戸。</li> <li>・ 東京都心部の営団地下鉄 で（サリン）がまかれ、 11 人が死亡。</li> <li>・ オウム真理教を強制捜 査。</li> </ul>
H6. 9. 19	<p>・ <b>第 1 回地全協畜産振興補助事業検討委員会</b> 札幌市 参集者 委員他 9 名            概要 1) 議事            道農地整備課公共草地 杉谷係長より、事業要綱改正と今後の事業の見通しについて説明がなされる。            2) 協議（美幌峠牧場の大橋場長が議長となり進める）            3) 協議結果以下の 3 点にまとめる            ① 輸入自由化以降の酪農、畜産全体を考えた場合、公共牧場が地域に果たす役割は従前にもまして重要になってきている。            ② 利用頭数の増加が困難な情勢下においても、頭数の維持を図ることが総体的には地域の畜産振興に寄与することとなり、公共牧場の存在意義としての重要性の理解をより積極的に求めていく。            ③ 利用推進計画の策定にあたっては、できるだけ広域的な利用というキーワードの考え方を盛り込んでいく。            4) 今後の対応について            有路幹事（天塩町）を中心に地域代表（5～6 名）からなる対策チームの構成を役員会に諮り、道、草地協会との連携を深めながら、市町村長会や北農中央会、酪農協会といった関係機関への協力要請も含めて早急に対策を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道東を中 心に負傷者 330 人を超え る。</li> <li>・ ノーベル文学賞に大江健 三朗氏。</li> <li>・ ミニヤコンガで北大 O B ら 4 人遭難。</li> <li>・ 種痘禍訴訟の差し戻し審 で原告が全面勝訴。</li> <li>・ 新進党結成。海部元首相 が初代党首に。</li> <li>・ 札幌大、受託研究めぐり 不祥事。研究名目で総額 約 2 億 3000 万円の報酬。</li> <li>・ 歌志内の空知炭鉱が 105 年の歴史に幕。</li> <li>・ 兵庫県南部で大地震（阪 神・淡路大震災）。 死者 6432 人。家屋の全 半壊 20 万戸。</li> <li>・ 東京都心部の営団地下鉄 で（サリン）がまかれ、 11 人が死亡。</li> <li>・ オウム真理教を強制捜 査。</li> </ul>

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H6. 12. 1	<p>・ <b>第 2 回地全畜産振興補助事業検討委員会</b> 札幌市  概要 1) 協議事項  道農地整備課及び牧場長会検討委員により、公共牧場利用推進に係る畜産経営合理化事業の継続と内容充実についてと題して要請書の内容を協議検討する。  また、協力要請先について（北海道市長会、町村会、北農中央会、北海道の酪農を守る町村会議、北海道農地開発推進会議等）検討し 2 月中に活動を実施することとした。</p>	
H7. 2. 2~3	<p>・ <b>専門ブロック会議</b> 札幌市 出席者 47 名  概要 1) 協議事項  「公共牧場従業員の給与等条件アンケート結果について」  結果報告と質疑応答（改善策を探る）  2) 話題提供  「乳用初妊牛の需給動向について」  話題提供：ホクレン酪農部家畜販売課 主幹 伊藤 節士 氏  3) その他  へり散布事業打合せ会議（3 日）  地全協家畜振興補助事業対策会議 要請文については、原案承認。今後の対応については、関係機関の動静を注視しながら進める。委員会は、今後も状況の変化に対応する必要があるので継続していく。</p>	
H7. 4. 18	<p>・ <b>春期研修会</b> 札幌市 道庁別館 出席者 81 名  概要 1) お知らせ  「道営公共牧場整備事業について」  提供者：道農地整備課草地開発係 係長 細川 重蔵 氏  2) 講演  「家畜ふん尿処理の実際について」  講師：道釧根農業試験場 酪農施設課 科長 高橋 圭三 氏  「家畜ふん尿の有効利用について」  講師：道中央試験場 土壌生態科 科長 三木 直倫 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京のサリン事件で殺人・同未遂容疑でオウム真理教の教祖、麻原彰晃容疑者を逮捕。</li> <li>・ 銀行員が全日空をハイジャック。函館空港で逮捕。乗員乗客 364 人を救助。</li> </ul>
H7. 4. 19	<p>・ <b>第 23 回定期総会</b> 札幌市 道庁別館 出席者 36 名  概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（22 名）  2) 平成 6 年度 会務・決算・監査報告（原案承認）  3) 平成 7 年度 事業計画・収支予算案（原案可決）  平成 7 年度重点事業 道営公共牧場整備事業に係る問題、地全協補助事業、へり散布事業、公共牧場の将来展望等。  4) 役員改選（1 名増員の 14 名）  会長鶴見（池田町）、副会長川久保（帯広市）、有路（天塩町）  新規役員野田（浜中町農協）、土井（標津農協）  5) その他  夏期研修会の名称変更（今後公共牧場職員研修会とする）  平成 7 年度は、道草地協会の 40 周年記念特別講演と共催  退会（脱会）の処理について  脱会の意志がなくても 2 年間会費の未納の会員については脱会とみなし、再入会は妨げないこととする。  永年勤続役員に対する感謝状と記念品の贈呈について  長期にわたり会の役員として発展に寄与されたものに対しては、今年度該当者 赤塚氏（標津町）、土田氏（雄武町）  新入会牧場等  正 会 員 本別町ラウンベ乳牛育成牧場、美幌農協日並牧場、小平町営鬼鹿牧場（再）、猿払村営牧場  賛助会員 トモエ科学工業（株）、武蔵商事（株）、（株）土谷製作所、鎮海貿易（株）、（株）アース技研、共立商事（株）北日本営業所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ADA 欠損症の 4 歳の男児に遺伝子治療が北大医学部附属病院でスタート。</li> <li>・ 米とベトナムが国交回復。ベトナム戦争が終結して以来 20 年目。</li> <li>・ JR 深名線廃止。翌日から代替バスを運行。</li> <li>・ 日教組が路線転換。日の丸・君が代反対闘争棚上げ。</li> <li>・ 坂本堤弁護士一家事件で坂本弁護士と妻都子さんの遺体発見。</li> <li>・ 野茂英雄投手（ドジャーズ）米ナショナルリーグの新人王。</li> <li>・ 堀達也知事が官官接待廃止を表明。</li> <li>・ 豊浜トンネルで岩盤崩落事故が発生。乗客ら 20 名死亡。</li> <li>・ 将棋の羽生善治名人が王将位を獲得。史上初の 7 冠王を達成。</li> </ul>

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H7. 5. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第 1 回道営公共牧場整備事業検討会議</b> 札幌市 出席者 19 名  概要 協議検討（鶴見会長が司会進行）  協議内容と問題点 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業採択面積が大きすぎる</li> <li>2. トラクターの馬力の制限（75%で換算すべき）</li> <li>3. 地区選定実施地区での事務量の負担が大きいので対応マニュアルが必要</li> <li>4. 財政対応の制度化</li> <li>5. 規模拡大区等の土地購入資金の対応</li> <li>6. 導入機械、機種について新技術対応も対象にすること</li> <li>7. ふん尿処理施設の優先導入</li> <li>8. 技術改善と施設への資本投下の考え方（牛舎の一体的な改築など）</li> <li>9. 各牧場の飼養管理に即した再整備の承認 等々</li> </ol> 今後の対応のため、会に検討委員会を設置していく。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京・大阪エイズウイルス訴訟で、国・製薬会社が和解受託。</li> <li>・ 本道プロサッカーチームの愛称「コンサドーレ札幌」に決まる。</li> <li>・ 駒ヶ岳が 54 年ぶりに噴火。</li> <li>・ <b>狂牛病疑惑で欧州各国が英国牛輸入中止。</b></li> </ul>
H7. 6. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>在京関係機関挨拶、要請</b> 東京都 会長他 2 名対応  概要 農林水産省自給飼料課、地全協、中央畜産会、日本草地協会訪問</li> </ul>	
H7. 9. 6～7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>平成 7 年度公共牧場職員研修会</b> 札幌市（共済ホール）  北海道草地協会創立 40 周年記念講演 出席者 134 名  概要 1）特別記念講演  「わが国における草地畜産の展開方法について」  講師：（財）競馬・農林水産情報衛生機構 常務理事 安武 正秀 氏  「世界の草地農業の現状と日本の草地農業への提言」  講師：草地コンサルタント 農学博士 エリック川辺 氏  2）現地研修会（サッポロさとらんど）</li> </ul>	
H7. 10. 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>道営公共牧場整備事業検討委員会設置</b>  概要 検討委員会構成メンバー  委員長 上田蜜春（幌延町）、副委員長 中澤敏幸（稚内市）  委員 西山雅明（南富良野町）、鈴木正一（清水町）、  田島昂（大野町）、町田 哲（中札内町）、岡田 博（厚岸町）、  高橋行雄（大樹町）、池田裕二（標茶町）</li> </ul>	
H7. 11. 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第 2 回道営公共牧場整備事業検討委員会</b> 札幌市  概要 道営公共牧場整備事業に係るアンケート調査実施  第 1 回検討会議の要望事項等を集約して実態調査を実施することを確認する。  実施結果（71 牧場調査、49 牧場回答）  事業実施希望牧場（11 牧場）  要望事項 次行採択要件に規模拡大が条件となっているが拡大は困難、実施期間の延長、事業費の柔軟な対応、財源の対応（特別地方交付税設置）、実施体制の簡素化（農務課調査の耕地課実施）、事務処理体制の簡素化、補助率のアップ、施設の改修（増頭分他も）、トラクターの馬力の制限緩和、新技術の導入対応、調査設計費の軽減等々を集約する。</li> </ul>	
H8. 2. 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>平成 7 年度冬期研修会</b> 札幌市（道農業開発公社）出席者 71 名  概要 1）議題  「公共牧場の再整備をどう進めるかについて」  公共牧場整備関連偉業の紹介【道営事業として実施できる事業】【担い手育成畜産基盤総合整備事業】、【公共育成牧場整備事業・公共牧場機能強化事業】、【団体営草地開発整備事業・小規模草地開発整備事業】  【地全協畜産振興補助事業】、【公共牧場利用促進対策事業】等々  講師：道農地整備課、酪農畜産課、北海道草地協会、各担当者</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H8. 4. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回道営公共牧場整備事業検討委員会 札幌市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日米両政府は、普天間飛行場の返還合意。</li> </ul>
H8. 4. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春期研修会 札幌市（かでの 2・7） 出席者 95 名</li> <li>概要 1) 講演 「新しい放牧技術について」 講師：北海道農業試験場 放牧利用研究室 室長 落合 一彦 氏 「ニュージーランドの放牧技術と公共牧場の課題について」 講師：北海道畜産会 指導部長 須藤 純一 氏</li> <li>2) 新商品・技術紹介 ガラガーエイジ（株）より放牧新技術を紹介。 塩野義製菓（株）よりアイボメック・トピカルを紹介。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2002 年 5 月 2 日ワールドカップで日韓共同開催案を採択。</li> <li>・ 北広島市、石狩市誕生。道内では伊達市以来 24 年ぶりの市制施行。</li> <li>・ 薬害エイズ事件をめぐり、業務上過失致死容疑で前帝京大学副学長阿部英容疑者逮捕。又、ミドリ十字歴代社長を逮捕。</li> <li>・ 北海道国際空港が設立。新千歳－羽田間への新規参入を目指す。</li> <li>・ 雌阿寒岳が 8 年 9 ヶ月ぶりに噴火。</li> <li>・ 南米ペルーの首都リマの日本大使公邸にゲリラ約 20 人が武装襲撃、占拠。</li> <li>・ 秋田新幹線「こまち」開業。</li> <li>・ 二風谷ダム建設をめぐり、札幌地裁が土地収用裁決は違法と判決。</li> </ul>
H8. 4. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 24 回定期総会 札幌市（かでの 2・7） 出席者 46 名</li> <li>概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（15 名）</li> <li>2) 平成 7 年度 会務・決算・監査報告（原案承認）</li> <li>3) 平成 8 年度 事業計画・収支予算案（原案可決）</li> <li>重点事項 運営事業、地全協補助業務の推進、公共牧場の将来展望等々</li> <li>4) 役員補充等経過報告 副会長 西山雅明（南富良野町）、監事 中橋真一（雄武町） 幹事 西山広行（美幌町）、奥村靖樹（士別市）へ変更報告</li> <li>5) その他 夏期研修会開催地（弟子屈町予定） 永年勤続役員表彰（3 期 6 年以上で役員推薦する） 新規賛助会員紹介（北海道土地改良資材、ホクレン肥料）</li> </ul>	
H8. 4. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道営公共牧場整備事業に係るアンケート調査依頼</li> </ul>	
H8. 9. 4～5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 8 年度公共牧場職員夏期研修会 弟子屈町 出席者 132 名</li> <li>概要 1) 講演 「最近の畜産情勢と草地畜産の展開方向について」 講師：農林水産省畜産局 自給飼料課 草地開発計画推進室 室長 野口 政志 氏 「公共牧場における育成牛の発育阻害要因とその対策について」 講師：帯広畜産大学（附属家畜病院）助教授 佐藤 基佳 氏 「放牧牛の飼養管理と越冬対策について」 講師：道立十勝農業試験場総括専門技術員 橋立 賢二郎 氏</li> <li>2) 現地研修会（弟子屈町営牧場・弟子屈町家畜衛生舎）</li> </ul>	
H8. 11. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道営公共牧場整備事業に係るアンケート調査依頼</li> </ul>	
H9. 1. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 8 年度冬期研修会 札幌市（かでの 2・7）出席者 67 名</li> <li>概要 1) 講演 「発酵牛床を利用したフリーバーンによる乳牛飼養管理について」 （置戸町拓実 蝦名牧場実践例から） 講師：置戸町農協 営農部畜産課 課長補佐 杉山 憲由 氏</li> </ul>	
H9. 1. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回地全協畜産振興補助事業検討委員会 札幌市</li> <li>概要 1) 欠員委員の選任</li> <li>2) 現状報告 平成 9 年度畜産振興補助事業の選定申請状況について説明後、各検討委員の質疑応答と今後の対応策について協議する。 報告者：道酪農畜産課 産経営係 宮田 大 氏</li> </ul>	
H9. 4. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春期研修会 札幌市（かでの 2・7） 出席者 95 名</li> <li>概要 1) 話題提供 「公共牧場の預託育成原価について」 平成 7 年度預託育成原価アンケート調査集計表に基づいて 話題提供者：北海道公共牧場会 事務局 池田 裕二 氏</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H9. 4. 18	<p>2) 事例発表 「わが牧場の預託育成原価について」 発表者：浜中町農協乳牛育成牧場 部長 野田 哲治 氏 発表者：清水町営育成牧場 牧場長 鈴木 正一 氏</p> <p>事例発表後、北海道公共牧場指導班の片山総括専技、船本総括専技よりコメントを頂き、その後鶴見会長を座長にパネルディスカッション形式で意見交換を行なった。今回のアンケートについては、特に経営主体による費目の区分・設定が異なることから、記入方法等にわかりにくかった点は否めず検討の余地は多いが、各牧場にとっては極めて関心の高いテーマであり、取り組みそのものは評価できるので、再度様式・内容の見直しを行い今年度も実施してはという意見が多かった。当会としては、実態に即した情報交換は各会員にとって有益であり、継続して取り組む。</p> <p>・ 第 25 回定期総会 札幌市（かでの 2・7） 出席者 55 名 概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰（12 名） 2) 平成 8 年度 会務・決算・監査報告（原案承認） 3) 平成 9 年度 事業計画・収支予算案（原案可決） 重点事項 道営公共牧場整備事業、地全協補助事業の推進、広域預託事業、公共牧場の将来展望等に関すること 道主催の「公共牧場優良事例集」の作成協力 預託育成原価アンケート調査の実施 その他、牧場会発足 30 周年事業として平成 14 年に記念冊子発行の計画とそのための積立（年 20 万円）を今年度より開始してはどうかとの提案がなされ承認された。 4) 役員改選（人事異動に伴う交代と補充分） 新役員 副会長（大樹町）高橋行雄、幹事（天塩町）水上宏志、（稚内市）氏本長一 5) 平成 9 年度夏期研修会開催地（富良野広域串内牧場予定） 6) 新入会員紹介（MSK 東急機械（株））</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税率 3%から 5%への引き上げ実施。</li> <li>・長崎県諫早湾の干拓事業に伴い、農水省は「潮止め」を実施。国内最大級の干潟消滅。</li> <li>・敦賀市動燃の新型転換原子炉「ふげん」で通常値を上回る放射性物質トリチウムが大気中に漏出。</li> <li>・アイヌ文化振興法が衆議院本会議で可決、成立。</li> <li>・環境影響評価（環境アセスメント）法が、参議院本会議で全会一致で可決、成立。</li> <li>・建設省がダム事業 18 件の中止・休止を公表。</li> <li>・ダイアナ元英皇太子妃がパリ市内で交通事故死。</li> <li>・長野新幹線「あさま」開業。東京ー長野間 1 時間 19 分。</li> <li>・北海道拓殖銀行が道内の営業権を北洋銀行に譲渡し清算すると発表。都市銀行では初の経営破綻。</li> <li>・衆議院で介護保険法可決。</li> <li>・東京湾アクアライン開通。</li> <li>・第 18 回オリンピック冬季大会が長野県で開幕。スピードスケート 500 メートル、女子モーグル、スキージャンプなどで活躍、金メダル 5 個を含む 10 個のメダルを獲得。</li> </ul>
H9. 5. 1	<p>・ 平成 8 年度公共牧場預託育成原価アンケート調査依頼</p>	
H9. 6. 12	<p>・ 在京関係団体への陳情、要請 東京都 会長他 2 名対応 概要 農林水産省畜産局自給飼料課及び地方競馬全国協会畜産振興部へ</p>	
H9. 9. 4~5	<p>・ 平成 9 年度公共牧場職員夏期研修会 南富良野総合福祉センター 出席者 150 名 概要 1) 講演 「最近の畜産情勢とわが国における草地畜産の展開方法について」 講師：農林水産省 畜産局 草地開発推進室 室長 坂本 壽文 氏 2) 話題提供 「風力発電の可能性について」 話題提供者：エコ・パワー株式会社 工藤 長正 氏 3) 現地研修会（富良野広域串内牧場）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市で行なわれた国際女子マラソンで高橋尚子が 2 時間 15 分 48 秒の日本最高記録で優勝。</li> <li>・統一会派「民有連」を作っている民主、民政、新党友愛、民主改革連合の野党 4 党が新しい「民主党」をつくることで合意。</li> </ul>
H9. 10. 7	<p>・ 第 5 回地全協畜産振興補助事業検討委員会 札幌市 概要 道酪農畜産課畜産経営係・公共草地係より地全協畜産振興補助事業の改正内容等の説明を受け、検討を行なった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動などを行う民間の非営利組織（NPO）は容易に法人格を得られるようにするための特定非営利活動促進法が衆議院本会議で可決、成立。</li> </ul>



年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H9. 10. 7	<p>主な改善点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事業名が「公共牧場活用強化事業」へ。</li> <li>2) 対象が複数連携型と単独強化型へ。</li> <li>3) 草地利用促進費が平成 13 年まで。 (従来の運営費補助から積極的な利用効率の改善のため再整備を図るための助成という方向性が全面に出てくることとなる)</li> </ol> <p>・ <b>第 4 回道営公共牧場整備事業検討委員会</b> 札幌市  概要 1) 副委員長の選任 (富良野広域串内牧場 西山雅明場長)  2) 事業の現状と今後の見通しについて  ①平成 9 年度までは概ね計画どおりの実施見込み  ②平成 10 年度の事業費については、該当牧場の計画とおりの確保は難しい  標記の理由は、公共事業全体の削減、U・R対策補正の 2 年間延長、道営事業全体のなかの 21 世紀事業費の大幅な増加等により道営公共の枠は自ずと圧縮されざるを得ない状況になってきた。</p>	
H10. 2. 18	<p>・ <b>平成 9 年度冬期研修会</b> 札幌市 (プレスト 1・7) 出席者 89 名  概要 1) 講演  「北海道公共牧場の主な取り組み事例について」  (平成 9 年度公共牧場利用促進改善優良事例調査により)  講師: 北海道草地協会  2) 報告  「平成 8 年度公共牧場預託育成原価調査結果について」  報告者: 北海道公共牧場長会事務局</p>	
H10. 4. 16	<p>・ <b>春期研修会</b> 札幌市 (KKR札幌) 出席者 79 名  概要 1) 事例発表  「草地の簡易更新とゴムマット利用の電牧の雑草対策について」  発表者: 稚内市大規模草地 牧場長 尾中 勝夫 氏  「ファックスによる農家への情報提供サービスについて」  発表者: 富良野広域串内牧場 係長 中島 和彦 氏  「ほ育苗試験の取り組み概要について」  発表者: 新得町営育成牧場 牧場長 大田喜代一 様  「ポアオンによる内部寄生虫駆虫と発酵式フリーバーン牛舎の取り組みについて」  発表者: 大樹町営牧場 係長 三宅 英彰 氏  次例発表後、事務局を進行係に質疑応答を行なった。発表された 5 牧場の取り組みは、現場サイドにとって極めて関心の高い課題や興味深い技術であり、より効率的な運営を目指す牧場にとって多くの示唆に富んだ話題であった。当会の運営にあたっては会員間の情報交換が最も重要と考えており、今後も積極的に先進的な取り組み事例の発表の場を設けていきたいと考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界最長のつり橋、明石海峡大橋が開通。神戸ー鳴門ルート全線開通。</li> <li>・ 民主党が統一大会。衆議院議員 93 人、参議院議員 131 人で旗揚げし、自民党に次ぐ第 2 党となる。</li> <li>・ インドが 24 年ぶりに 2 度目の地下核実験を実施。パキスタンも初めて地下核実験を実施。</li> <li>・ 春・夏両場所連続優勝の大関・若乃花の横綱昇進を日本相撲協会理事会が承認。兄弟横綱は史上初。</li> <li>・ 銀行、証券、保険分野の大幅な規制緩和を盛り込んだ金融システム改革法が参議院本会議で可決、成立。</li> <li>・ 中央省庁等改革基本法が成立。</li> <li>・ 金融監督省が発足。</li> <li>・ 石川県畜産総合センターが、「クローン牛」を出産させることに成功。</li> <li>・ 第 18 回参議院選挙。自民党惨敗、民主党、共産党は躍進。</li> </ul>
H10. 4. 17	<p>・ <b>第 26 回定期総会</b> 札幌市 (KKR札幌) 出席者 48 名  概要 1) 北海道公共牧場長会永年勤続職員表彰 (18 名)  2) 平成 9 年度 会務・決算・監査報告 (原案とおりに承認)  3) 会の名称変更について  提案理由  今までの実態としては各公共牧場を会員とする組織として運営してきており、<b>北海道公共牧場会</b>への名称を変更することで、場長不在の牧場へも積極的に当会への加入を促していきたいとの提案により承認される。  4) 平成 10 年度 事業計画・収支予算案 (原案とおりに可決)  重点事項  道営公共牧場整備事業、地全協補助事業の推進、広域預託事業、公共牧場の将来展望等に関することを継続他</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H10. 6. 10	<p>平成9年度業務実績書の集約方法について            昨年までは、総会時に各牧場の業務実績書を持ち寄り、会員へ配布していたが、時期的に見込み数字にならざるを得ないことや、平成7年度分から実施している〔預託育成原価アンケート〕の継続的な取り組みに対する希望が多いことから、記入事項様式を整理・統合し、二つ合わせた業務実績書として今年度から集約することとした。</p> <p>30周年記念誌編集委員会（仮称）の設置等について            記念誌発刊に向けて資料の収集等の準備を開始する必要がある、今年度中に委員会を設置することが承認される。            （記念誌発刊積立金を30万円に増額）</p> <p>5) 役員の変更（人事異動に伴う分）            6) その他            夏期研修会開催地（稚内市）            賛助会員新規加入（3業者）            児玉ヘルス商事（株） 丸和バイオケミカル（株）札幌営業所            日本カーボナイズ（株）</p> <p>・在京関係団体への陳情、要請 東京都 会長他2名対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮がテポドンとみられる弾道ミサイルを日本海に向け発射、ミサイルは日本列島を飛び越して三陸沖の太平洋上に着弾。</li> <li>・格安運賃を売り物し新航空会社スカイマークエアラインズが羽田ー福岡間に、北海道国際空港（エア・ドゥ）が羽田ー新千歳間に定期便の運航を開始。</li> <li>・「改正祝日法」が成立。99年から「成人の日」と「体育の日」が第2月曜日に。</li> <li>・第13回アジア競技大会で、高橋尚子が独走。2時間21分47秒で日本最高記録、世界歴代5位のタイムで優勝。</li> <li>・米の輸入関税化が決定。2000年4月から。</li> <li>・臓器移植法施行後初の脳死者の臓器移植を実施。</li> <li>・対人地雷の使用や清算を禁止し、その全廃を目指す対人地雷全面禁止条約が発効。</li> <li>・日銀が短期融資市場の金利を実質ゼロに。</li> <li>・新潟県佐渡島沖と能登半島沖の領域内で2隻不審船を発見。政府は自衛隊法に基づく初の海上警備行動発令。</li> </ul>
H10. 9. 3~4	<p>・平成10年度公共牧場職員夏期研修会            稚内市総合文化センター（稚内市宗谷岬肉牛牧場） 出席者126名</p> <p>概要 1) 講演            「自給飼料をめぐる陳情・公共牧場の活性化と効率利用に向けて」            講師：農林水産省 自給飼料課 草地改良指導官 溝上 誓次 氏            「簡易更新播種機による公共牧場の草地維持管理について」            講師：稚内市宗谷岬肉牛牧場 牧場長 氏本 長一 氏            オブザーバーとして            ニュージーランド エイチゾン社 社長 ピーター エイチゾン 氏</p> <p>2) 報告事項            「公共牧場をめぐる情勢について」            報告者：北海道農政部 農地整備課及び北海道草地協会</p> <p>3) 現地研修会（稚内市大規模草地）            簡易更新播種機のデモンストレーション</p>	
H11. 1. 28	<p>・平成10年度冬期研修会 札幌市（フジヤサントスホテル） 出席者84名</p> <p>概要 1) 講演            「乳用牛の市場動向について」            生乳も需要については、需要・供給共に停滞しているがトータル的には不足状態が続いており、供給に関しては特に都府県での落ち込みが大きい、初妊牛価格は平成10年後半が34万円程度で低迷しているが年明けには若干の上昇が見られた。廃用牛及び初生は価格が低迷しており回復の兆しが見えない等々            講師：ホクレン酪農部 家畜販売課長補佐 村瀬 稔生 氏            「道内交雑牛の現状と流通について」            F1に対する需要は強く、特にA3クラス以上については堅調に推移するのではとの見通しが示される。            講師：ホクレン畜産販売部 ビーフ課長 池添 憲一 様</p> <p>2) 報告事項            「平成9年度預託育成原価調査の集計結果について」            報告者：北海道公共牧場会事務局</p>	
H11. 1. 29	<p>・第1回30周年記念誌編集委員会 札幌市（KKR札幌）</p> <p>概要 1) 委員長及び副委員長の互選            委員長 西山 雅明 副委員長 上田 蜜春            2) 編集内容及び資料収集方法等について協議</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H11. 4. 15	<p>・第6回地全協畜産振興補助事業検討委員会  概要 1) 道酪農畜産課畜産経営係より現状報告  2) 公共牧場利用体制整備事業についても検討委員会で対応することを確認</p> <p>・春期研修会 札幌市（プレスト1・7） 出席者 82 名  概要 1) 講演  「河川環境改善へのゆう水の利用について」  漁業者からの家畜ふん尿処理と水資源保全への提言として話題提供を戴いた。河川への水質汚濁は漁業者にとって死活問題であり緊急の解決を求められた。水資源の保全は地域全体の問題であるとの共通意識が重要であり、恩恵を受けている全員がそれぞれの立場を超えて協力し合い知恵を出し合って、より効果的な処理方法を模索していくことが将来的にもそれぞれの産業が成り立つためには必要であるとの考え方が提起される。  講師：(社) 根室管内 さけ・ます増殖事業協会  管理部長 三浦 圭司 氏</p> <p>「家畜ふん尿処理と課題について」  家畜ふん尿の処理方法について、道内の取り組み事例と諸課題についての紹介と今後の解決方法について等々  講師：(財) 北海道農業開発公社  農場整備部技術調査課長 丸山 健次 氏</p> <p>2) 報告事項  「公共牧場の草地植生（雑草）について」  草地荒廃の大きな要因が雑草であり、一旦進入を許せば、駆除は容易ではなく、早期発見、早期駆除が重要  報告者：(社) 北海道酪農畜産協会  総括畜産コンサルタント 片山 正孝 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい日米防衛協力のための指針（ガイドライン）関連法が参議院の特別委員会と本会で自民、自由、公明3党などの賛成多数で可決、成立。</li> <li>・東邦生命保険が自力再建を断念。</li> <li>・2001年から中央省庁を1府12省にするための中央省庁改革関連法と、国と地方自治体を対等にする地方分権一括法が参議院本会で可決、成立。</li> <li>・日の丸・君が代を国旗・国家とする法律が参議院本会議で自民、自由、公明3党と民主党・新緑風会の一部議員の賛成で可決、成立。</li> <li>・調査機関に電話傍受を認める通信傍受（盗聴）法と住民票にコード番号をつけて一括管理する改正住民基本台帳法が参議院本会議で可決、成立。</li> <li>・茨城県東海村の民間ウラン加工施設JCO東海事業所で国内初の臨界事故発生。</li> <li>・大阪府知事選で太田房江が当選。全国初の女性知事が誕生。</li> <li>・北海道有珠山が噴火。77年8月以来22年7ヶ月ぶり。</li> <li>・国内初の「口蹄疫」疑似患畜が確認される。</li> </ul>
H11. 4. 16	<p>・第27回定期総会 札幌市（プレスト1・7） 出席者 53 名  概要 1) 北海道公共牧場会永年勤続職員表彰（13名）  2) 平成10年度 会務・決算・監査報告（原案承認）  3) 平成11年度 事業計画・収支予算案（原案可決）  4) 役員改選（3名の選考委員により）  再選役員5名：西山（南富良野町）、高橋（大樹町）、氏本（宗谷岬）、鈴木（清水町）、池田（標茶町）  新役員5名：谷口（佐呂間町）、荻本（八雲町）、村井（小平町）、平間（上士幌）、木庭（標茶町農協）  （13名体制より10名体制にする）</p> <p>5) 新会員（賛助会員）  新井コンピューター・オフィス  (株) アイ・デー・イー・シー  日立建機株式会社北海道支部 3社</p>	
H11. 9. 2～3	<p>・平成11年度公共牧場職員夏期研修会  士別プリンスホテル（士別市大和牧場）出席者 153 名  概要 1) 講演  「家畜排せつ物管理の適正化と利用の促進について」  畜産経営が起因する環境問題 家畜のふん尿の処理、利用状況、家畜ふん尿処理法の現状、環境保全に対する支援設置等 適正化及び利用の促進に関する法律について解説  講師：農林水産省自給飼料課草地改良指導官 奥池 弘明 氏</p> <p>「公共牧場における家畜衛生対策について」  公共牧場での病気で近年心配される牛肺虫症及び牛ヨーネ病等を中心に発生状況、対策について指導をいただく中、特に平成10年度より家畜伝染病予防法の改正がなされて定期検査化された牛ヨーネ病の公共牧場での対応については、事例も含めて紹介される。  講師：北海道上川家畜保健衛生所 予防課長 阿部 修二 氏</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H11. 10. 18～	<p>2) 報告 「北海道の公共牧場の利用状況について」 報告者：北海道農地整備課公共草地係 係長 菊地 和博 氏</p> <p>3) 現地研修会（3日）世界のめん羊館 士別市大和牧場 報告者：士別市農務課 岡 強志主幹 ：士別市農協 古川 峰由牧場長</p> <p>・公共牧場の課題・問題点についてアンケート調査 概要 調査結果 70 牧場中 22 牧場より回答 調査結果による課題・問題点の主な項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設管理（機械・隔障物・建築物等）について</li> <li>2. 草地管理について</li> <li>3. 自給飼料の飼養管理について</li> <li>4. 入牧頭数及び飼養管理について</li> <li>5. 疾病・衛生対策について</li> <li>6. 家畜ふん尿処理対策について</li> <li>7. 業務の外注について</li> <li>8. 人事について</li> <li>9. 経営収支改善等について</li> <li>10. その他（多目的施設運用等）</li> </ol> <p style="text-align: center;">課題・問題点を集約して各牧場へ配布する</p>	
H12. 2. 14～15	<p>・平成 11 年度冬期研修会（札幌市フジヤサントス） 牧場会及び北海道草地協会共催（北海道後援）出席者 169 名 概要 1) 報告事項（公共牧場指導班の調査結果） 「公共牧場の経営診断結果について」 道公共牧場指導半の調査結果を報告 報告者：道農政部農業改良課総括専門技術員 新名 正勝 氏 道立道南農業試験場 専門技術員 石田 亨 氏 道立花・野菜技術センター主任専門技術員 森本 正隆 氏 道立天北農業試験場総括専門技術員 井原 澄男 氏 道立十勝農業試験場主任専門技術員 高木 正季 氏 道立根釧農業試験場総括専門技術員 湯藤 健治 氏</p> <p>2) 発表事項 「畜産・飼料作物に関する新技術について」 発表者：道農政部農業改良課総括専門技術員 新名 正勝 氏 道立根釧農業試験場総括専門技術員 湯藤 健治 氏 道立天北農業試験場総括専門技術員 井原 澄男 氏</p> <p>「公共牧場のコンピューター管理について」 先進技術管理を実践している事例紹介 発表者：浦幌町模範牧場 牧場長 三宅 英彰 氏 新井コンピューターオフィス 代表 新井 三郎 氏</p>	
H12. 4. 13	<p>・春期研修会 札幌市（KKR札幌） 出席者 81 名 概要 1) 講演 「牛の健康から見た自給飼料の重要性について」 牛本来のルーメンを十分に考えた自給飼料の位置付けと投資的経費から見た現状分析がなされ、濃厚飼料依存型酪農経営からの脱却を図り、所得率を見据えた経営形態への意識改革が急務と提言 講師：釧路地区 N O S A I 標茶支部 診療係長 久保田 学 氏</p> <p>2) 先進事例報告 「公共牧場における自動哺育の現状について」 近年の公共牧場の現状に預託頭数が減少するなか、一貫性のある預託として、哺育事業に取り組んでいる牧場の事例紹介 紹介者：新得町営育成牧場（公社） 牧場長 長野 章 氏</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H12. 4. 14	<p>3) 報告事項 「平成 10 年度育成コスト集計結果について」 提出牧場の 3 年間の比較表を作成し、歳入（預託料＋事業収入）及び歳出（人件費＋物件費）の筆禍うをするが、それぞれの牧場設置目的（施策）があり一概に比較は出来ない。 しかし、各牧場の 3 年間の収支のコストバランスを担当者の目で検討することが重要と報告する。 報告者：北海道公共牧場会 事務局</p> <p>・ 第 28 回定期総会 札幌市（KKR札幌） 出席者 76 名 概要 1) 北海道公共牧場会永年勤続職員表彰（11 名） 役員功労表彰（1 名）池田前事務局 2) 平成 11 年度 会務・決算・監査報告（原案承認） 3) 平成 12 年度 事業計画・収支予算案（原案可決） 重点事項 ・ 会独自で取り組む研修会を春期研修会に重点を置き、夏期及び冬期研修会は草地協会主催（道委託）として共催していく。 ・ 業務実績書の集約は継続して実施する（集約結果は、春期研修会で報告する） ・ 地全協畜産振興補助事業は、継続的に中央要請活動の実施 ・ 30 周年記念誌積立金の増額（30 万から 40 万へ） ・ ブロック研修会の充実と開催地の拡大（最大 4 地区へ） 4) 役員の補充（標茶町育成牧場辞退による） 三宅英彰（浦幌町模範牧場） 役員補充による役割分担の再調整結果 会計から事務局へ（清水町営育成牧場） 幹事から監事へ（佐呂間町営牧野） 監事から幹事へ（標茶町農協望洋台牧場） 会計へ（浦幌町模範牧場） 5) その他 各種検討委員会の委員の見直し（人事異動により）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストーカー規制法が衆議院本会議で可決、成立。</li> <li>・ 雪印乳業大阪工場で製造された低脂肪乳による集団食中毒事件で石川哲郎社長が引責辞任を表明。</li> <li>・ 道内肉牛農家でも「口蹄疫」疑似患畜が発生。</li> <li>・ 大手百貨店のそごうグループが民事再生法に適用を東京地裁に申請し倒産、負債総額 1 兆 8700 億円。</li> <li>・ 沖縄県名護市で九州・沖縄サミット開幕。</li> <li>・ 伊豆諸島三宅島の雄山が再噴火。東京都が全島民に避難を指示。</li> <li>・ 東海地方に総雨量 700 ミリ前後の記録的豪雨。愛知県を中心に浸水家屋約 5 万 6000 戸、死者 10 人。</li> <li>・ 第 27 回夏季オリンピックがオーストラリアのシドニーで開幕。女子マラソンで、高橋尚子選手が 2 時間 23 分 14 秒の五輪最高記録で優勝。</li> <li>・ 白川英樹筑波大名誉教授がノーベル化学賞受賞。</li> <li>・ 共栄生命保険が経営破綻。生保の破綻は戦後 6 社目。</li> </ul>
H12. 5. 18	<p>・ 道営公共牧場整備事業制度拡充要望調査依頼 概要 道より調査依頼 69 牧場への発送、要望は直接道へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東北旧石器文化研究所の藤村新一副理事長が、自分で収集した石器を上高森遺跡（宮城県）などの土中に埋め、「最古の石器」として捏造したことを認める。</li> </ul>
H12. 8. 24～25	<p>・ 平成 12 年度公共牧場職員夏期研修会 清水町（文化センター） 出席者 157 名 概要 1) 講演 「酪農及び肉牛生産の近代化を図るための基本方針及び飼料増産計画について」 講師：農林水産省畜産局自給飼料課課長補佐 富田 育稔 氏 「公共牧場における防疫体制について」 講師：十勝家畜保健衛生所 次長 鶴田 清弘 氏 2) 報告事項 「公共牧場の管理運営指標及び利用状況について」 報告者：北海道農地整備課 公共草地 係長 菊地 和博 氏 3) 現地研修会（25 日） 美蔓堆肥処理施設及び清水町営育成牧場（円山団地） 報告者：（有）日本酪農清水協同農場 代表取締役 長尾 巳俊 氏 清水町営育成牧場 牧場長 鈴木 正一 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本赤軍最高幹部の重信房子が大阪府高槻市内で逮捕される。</li> <li>・ ハワイ沖で宇和島水産高校実習船「えひめ丸」に米潜水艦が衝突。9 人が行方不明。</li> <li>・ 薬害エイズ事件で阿部英被告に無罪判決。</li> </ul>
H12. 8. 25	<p>・ 第 1 回全体会議 清水町（役場地下会議室） 午後 概要 1) 中央意見交換会課題等集約について 各種検討委員、役員及びアンケート調査結果により中央意見交換会 の話題整理を次のとおり集約する。</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H13. 1. 24~26	<p>国に対する話題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家畜ふん尿処理法に係る規制緩和策</li> <li>2. 老朽草地の整備</li> <li>3. ふれあい牧場の推進</li> <li>4. 家畜防疫体制の充実 等々を重点話題とした</li> </ol> <p>地全協に対する要請</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 直接経費の継続補償願</li> </ol> <p>派遣者の選出</p> <p>西山会長、平間監事、谷口監事 3名</p> <p>2) 30周年記念誌編集大綱集約</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 記念誌サイズはA4とし正会員を1ページ、賛助会員を半ページとし部数は最低300程度を目安とする。</li> <li>2. 記念誌の企画内容は、歴代役員等挨拶2名、歴代役員名簿作成、牧場のあゆみ作成等を中心に企画すること。</li> <li>3. 記念誌発刊予算は、概ね160万程度で検討すること。</li> <li>4. 資料収集は、正会員に協力願う。(特に不詳部分)</li> </ol> <p>・中央意見交換会等 (西山会長、平間監事、谷口監事) 東京都</p> <p>概要 1) 意見交換会</p> <p>農林水産省生産局飼料課草地整備推進室 姫田室長等と意見交換 (詳細復命 第29回定期総会報告)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長より北海道の公共牧場の現状について説明し意見交換を実施する。</li> <li>2. その他飼料課からの意見として、ふん尿処理問題(堆肥舎の整備をし、地道に切換えしを行なうことがランニングコスト的に良いのでは)及び多面的機能の発揮(酪農教育ファームの導入も時代的に)</li> </ol> <p>2) 地方競馬全国協会及び日本草地畜産種子協会訪問</p>	
H13. 3. 23	<p>・北海道公共牧場会賛助会員PR冊子発刊</p> <p>概要 冊子搭載希望により作成し、正会員等に賛助会員のPRを実施する。</p>	
H13. 4. 19	<p>・春期研修会 札幌市(KKR札幌) 出席者110名</p> <p>概要 1) 講演</p> <p>家畜ふん尿処理法に係る「家畜ふん尿処理事例発表第2段」</p> <p>ふん尿処理の方法は様々な取り組みがなされているが、いまだこれがふん尿処理方法であるという方向性は見出されていないのが現状の中で、最低限生産現場での有効処理が急務であることはまぎれもない現実であり、多くの事例を提供し知恵を結集し、自らの課題として地域にあった活用処理が可能となることが望まれることから発酵牛床での先進事例を紹介</p> <p>講師：別海村(農)清和農場 副代表理事 折笠 文則 氏</p> <p>公共牧場の多面的機能の方向性として</p> <p>「酪農教育ファームの実践活動について」</p> <p>恵まれた環境を持つ公共牧場が本来業務の一部を活用して取り組み可能な活動として、人、動物、自然の三者の関係で成り立つことを将来の大人達「子供達にかかわりとして」に実感体験させることも重要として諸外国等の事例を紹介</p> <p>講師：新得町字下佐幌</p> <p>地域交流牧場全国連絡会 副会長 湯浅 優子 氏</p> <p>2) 報告事項</p> <p>「平成11年度育成コスト集計結果について」</p> <p>報告者：北海道公共牧場会 事務局</p> <p>3) 賛助会員による新商品及び新技術紹介</p> <p>紹介者：北海道公共牧場会 賛助会員4社</p>	<p>・政府は輸入が急増したネギ・生シタケ・畳表の農作物3品目について、セーフガードの暫定発動を決めた。</p> <p>・東川町農協架空の取引で巨額損失。</p> <p>・札幌ドーム「HIROBA」オープン。収容人員5万4000人。総工費537億円。</p> <p>・日本が中国の農作物を主な対象としたセーフガードを発動したことに對し、日本から輸入されている自動車、携帯電話、エアコンについて特別関税を課することを決定。</p> <p>・大阪池田小の教室に包丁男乱入、1・2年生8人を刺殺。</p> <p>・航空自衛隊戦闘機が北広島市の福祉施設に訓練弾誤射。</p> <p>・広尾町で近所の男が留守番の子供2人を殺害、1人重傷。</p>
H13. 4. 20	<p>・第29回定期総会 札幌市(KKR札幌) 出席者89名</p> <p>概要 1) 北海道公共牧場会永年勤続職員表彰(14名)</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H13. 8. 30~31	<p>2) 平成 12 年度 会務・決算・監査報告 (原案承認)</p> <p>3) 平成 13 年度 事業計画・収支予算案 (原案可決)</p> <p>4) 規約の一部改正 (原案とおり可決)</p> <p>5) 役員改選 (選考委員により)  再選役員 10 名: 西山 (南富良野)、高橋 (大樹町)、氏本 (宗谷岬)、鈴木 (清水町)、三宅 (浦幌町)、谷口 (佐呂間町)、荻本 (八雲町)、村井 (小平町)、平間 (上士幌)、池田 (標津町)</p> <p>新役員 1 名: 表 (標茶町)  (10 名体制より 11 名体制にする) 1 名増員</p> <p>6) その他議案  ・会費及び会費の納入について  ・北海道公共牧場会 30 周年記念誌 (素案) について  ・平成 13 年度夏期研修会開催地について  八雲町乳牛育成牧場  ・北海道公共牧場会 HP 立ち上げに係る検討委員の設置  役員に情報担当をおき会員有志と検討立ち上げ準備を実施する。  (以上提案により決定する)</p> <p>7) その他  新規加入賛助会員紹介  シヤマ産業 (株)</p> <p>・平成 13 年度公共牧場職員夏期研修会 (八雲町) シルバープラザ 出席者 135 名  概要 1) 講演  「酪農及び畜産をめぐる情勢について」  講師: 農林水産省生産局畜産部飼料課 課長補佐 田中 誠也 氏  「家畜糞尿処理・利用対策について」  講師: 北海道立畜産試験場 環境草地部 畜産環境科 田村 忠 氏</p> <p>2) 現地講演  「家畜糞尿処理・利用対策の実践事例報告について」  報告者: (株) ばんけいリサイクルセンター 代表取締役 我満 由明 氏</p> <p>3) 現地研修会 (31 日)  (株) ばんけいリサイクルセンター (堆肥処理施設)  八雲町乳牛育成牧場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国で旅客機 4 機が乗っ取られ 2 機はニューヨークの世界貿易センタービル 2 棟に激突。3 機目はワシントンの国防総省に突っ込み、4 機目はペンシルベニア州ピッツバーグに墜落。行方不明者は日本人含めて 4700 人。</li> <li>・新宿の雑居ビル火災で 44 人死亡。</li> <li>・米英軍がアフガン攻撃。タリバン政権崩壊。</li> <li>・国内の BSE 疑似患畜 1 頭を米国獣医研究所が BSE と確認。</li> <li>・狂牛病緊急調査スタート。過去、肉骨粉や血粉を補助飼料としていた農家 18 戸あったが異常はなかった。</li> <li>・小樽ベイシティ開発が民事再生法適用を申請。負債総額 492 億円。</li> <li>・テロ特別対策措置法が成立。</li> <li>・道内酪農家で飼養されていた乳牛が BSE に感染 (国内 3 頭目)</li> <li>・WTO が中国、台湾の加盟を正式承認。</li> <li>・外務省では公費流用をめぐる不祥事が相次いで発覚。</li> <li>・国内唯一の坑内掘り炭鉱 太平洋炭鉱が労組に 14 年 1 月 30 日閉山を正式提案。</li> <li>・有機化学が専門の野依良沼名古屋大大学院教授がノーベル化学賞を受賞。</li> </ul>
H13. 12. 25~26	<p>・情報 (HP) 担当者会議 札幌市 ホテル新東  概要 情報担当者 (三宅氏、荻本氏) による牧場会 HP 立ち上げに関する素案作成及び会員 HP (記念誌紹介部分) リンク方法等について協議検討する。</p>	
H14. 4. 17	<p>・春期研修会 札幌市 (ホクレンビル 10F) 出席者 102 名  概要 1) 講演  「ギガファームグループの取り組みについて」  常日頃、私達が公共牧場を利用するにあたっての設置基本となる預託者側に立った考えが長年の運営と時代背景の変化に伴い部分的に希薄になっている現状のなかで、新たにそれぞれの地域での酪農・畜産支援システムの再構築が急務な時代に入っている現実を再認識し、ただ単に預託を受けていく時代から預託者と共に酪農・畜産の核となるため、新たな取り組みとして実践しているギガファームグループより話題提供をしていただいた。  今回の話題は、公共牧場が果たしてきた預託エリアであり、高い技術レベルに裏付けされた信頼性と預託利用者に対する責任感を再認識するための講演を戴いた。  講師: 別海町中春別 ギガファームグループ 代表理事 コアファーム兼松 兼松 誠 氏</p>	

月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H14. 4. 18	<p>2) 報告事項  「平成12年度預託育成原価集計結果報告」  提出牧場の6年間の推移を集計し、特に周年牧場、夏期牧場の受益者負担率について報告する  報告者：北海道公共牧場会 事務局</p> <p>3) 賛助会員による事例発表及びPR  ①事例発表  「牧野における駆虫薬の効果比較試験結果について」  報告者：根室地区NOSA I 獣医師 臼井 章 氏</p> <p>②賛助会員PR  賛助会員5社（新規加入含）</p> <p>・第30回定期総会 札幌市（ホクレンビル10F） 出席者51名  概要 1) 北海道公共牧場会永年勤続職員表彰（9名）  2) 平成13年度 会務・決算・監査報告（原案承認）  3) 平成14年度 事業計画・収支予算案（原案可決）  4) その他議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会費及び会費の納入について</li> <li>・北海道公共牧場会30執念記念式典及び記念誌発刊について</li> <li>・平成13年度夏期研修会開催地について 上士幌ナイタイ高原牧場</li> <li>・北海道公共牧場会HP立ち上げと活用について</li> <li>・ブロック研修会の開催要領（案）について</li> <li>・海外視察研修への企画及び内容集約について  （以上提案により決定する）</li> </ul> <p>5) その他  新規加入賛助会員紹介（5社）  北海道曹達（株）研究技術部、オバナヤ セメントック（株）  B I シオノギ ベトメディカ（株）、メリアル ジャパン（株）  有限会社サンピラーズ</p> <p>人事異動に伴う役員及び各種検討委員の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員分  氏本長一氏～中澤敏幸氏〔稚内市宗谷岬肉牛牧場〕  平間建男氏～山口準二郎氏〔上士幌ナイタイ高原牧場〕</li> <li>・地全協検討委員分  深田 隆氏～平岡勇治氏〔美幌峠牧場〕  水上宏志氏～小野義勝氏〔天塩町営牧場〕  古川峰由氏～大西 満氏〔士別市営大和牧場〕</li> <li>・記念誌編集委員会分  平間建男～山口準二郎〔上士幌ナイタイ高原牧場〕</li> </ul>	<p>1月19日：東京・新宿中央公園に爆弾。  1月21日：奈良県明日香村のおキトラ古墳から東アジア最古の獣頭人身像。</p> <p>1月25日：東京都東村山市の路上生活者の男性（55）が暴行されて死亡。26日、警視庁は中学2年の男子3人を傷害致死容疑で逮捕した。</p> <p>5月25日：静岡県の中部電力浜岡発電2号機で放射能を含む冷却水漏れが見つかった。</p> <p>7月9日：【台風で被害】台風6号が日本付近に接近した。10日から11日にかけて九州地方から東北地方に豪雨をもたらした。死者・行方不明者7名。</p> <p>7月26日：宮崎県日向市の「日向サンパーク温泉・お舟出の湯」でレジオネラ菌感染患者が22日に死亡したことが判明。  この後死者が続き、9月15日に7人に達した。</p> <p>10月1日：長崎市の三菱重工業長崎造船所で建設中の豪華客船で火災。</p> <p>10月8日：名古屋刑務所の刑務官5人を特別公務員暴行凌虐致傷の容疑で逮捕。</p>



年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H14. 7. 17～18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第 1 1 回 3 0 周年記念誌編集委員会等開催</b>  (南富良野町かなやま湖ログホテルラーチにおいて)  編集委員 7 名 + 1 (高橋副会長)  記念誌 (表紙、位置、挨拶、会員紹介、あゆみ、役員名簿、裏写真等) 最終校正  ほか、北海道公共牧場職員夏期研修会の道主催について協議 (牧場会は後援とする)</li> </ul>	
H14. 8. 28～29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第 2 回夏期研修会打合わせ会議</b> (上士幌ナイタイ高原牧場において)  参集者: 牧場会等 (6 名) 道 (1 名)  道より夏期研修会最終役割分担及び出席者集約等について  牧場会より 30 周年記念式典の最終概要について</li> <li>・ <b>第 1 回役員会</b> (上士幌町糠平温泉文化ホールにおいて)  参集者: 道等 3 名 牧場会等 1 1 名  道より 夏期研修会開催詳細役割分担等について  牧場会より <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30 周年記念式典について</li> <li>・ ブロック研修会の集約状況について (研修担当)</li> <li>・ 海外研修 (NZ) 企画状況について (事務局等)</li> <li>・ 中央意見交換会参加者及び内容について (道と協議要)</li> <li>・ 牧場会ホームページについて (情報担当)</li> <li>・ H13 年度育成原価調査について (継続か中止か)</li> <li>・ 今後の牧場会のあり方について 等々</li> </ul> </li> </ul>	
H14. 8. 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>北海道公共牧場会 3 0 周年記念式典</b> (上士幌町糠平温泉文化ホールにおいて) 参集者 130 名  式典次第 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会の辞 (司会高橋行雄)</li> <li>2. 会長挨拶 (西山雅明)</li> <li>3. 来賓祝辞 (農林水産省生産局飼料課課長補佐 田中誠也氏)  (社団法人日本草地畜産種子協会常務理事 安武正秀氏)</li> <li>4. 歴代役員出席者の紹介 (11 名)</li> <li>5. 3 0 周年のあゆみ概要紹介 (事務局)</li> <li>6. 3 0 周年記念誌の紹介 (事務局)</li> <li>7. 閉会の辞</li> </ol> </li> </ul>	
H14. 8. 29～30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>平成 1 4 年度 北海道公共牧場職員夏期研修会</b>  (上士幌町糠平温泉文化ホールにおいて)  参集者 166 名 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>「酪農及び畜産をめぐる情勢について」  講師: 農林水産省生産局飼料課 課長補佐 田中誠也 氏</li> <li>「公共牧場の防疫対策について」  講師: 北海道立畜産試験場 研究参時 扇 勉 氏</li> </ul> </li> <li>2. 交流会 (糠平館観光ホテル) 参加者 129 名</li> <li>3. 現地研修会 (参加者 126 名)  上士幌町高田牧場及び同町ナイタイ高原牧場</li> </ol> </li> </ul>	
H14. 10. 21～24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>平成 1 4 年度 第 2 回放牧サミット出席</b> 大分県大分市大分東洋ホテルにおいて  主催: (社) 日本草地畜産種子協会  参加者: 西山会長及び荻本幹事  概要 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基調講演として <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自給飼料を取り巻く情勢</li> <li>・ 放牧の普及に役立つ新しい技術</li> <li>・ 荒廃未利用地の放牧による利用</li> <li>・ 公共牧場の再編による活性化</li> <li>・ シバ草地と活用したゆとりある畜産経営の取組みについて</li> <li>・ 地域資源を活用した放牧による中山間地域の肉牛振興</li> </ul> </li> <li>2. 放牧に関する総合討論会</li> <li>3. 現地研修会  (志屋牧野組合、久住町畜産センター、町田パーネット牧場)</li> </ol> </li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H14. 11. 28～29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共牧場活性化推進意見交換会（雄武町において） 会長出席（南富良野町として）</li> <li>・ 道南地区等ブロック研修会開催（担当者：荻本幹事）熊石町 参集者 26 名 概要：公共牧場の牧野衛生とピロ対策について ：各牧場管理の問題点について 等々</li> </ul>	
H14. 12. 17～18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道北地区等ブロック研修会開催（担当者：中澤幹事）初山別村 参集者 17 名 概要：公共牧場におけるコクシジウム症対策について ：これからの公共牧場に求められるもの ：公共牧場の管理に関する質疑討論 ：賛助会員紹介（2社）</li> </ul>	<p>1月12日：【名古屋刑務所の副看守長を逮捕】2001年12月に男性受刑者を全裸にして肛門部分に高圧の放水を大けがをさせ、死亡につながった特別公務員暴行陵虐致死容疑。</p>
H14. 12. 28～29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報委員会（ホームページ作成） 札幌市新井コンピュータオフィス 担当者：三宅幹事、荻本幹事</li> </ul>	<p>5月、SARSに感染した台湾の医師が関西や四国を観光旅行したことが判明。立ち寄り先ではキャンセルが相次ぐなど混乱した。</p>
H15. 1. 23～24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回役員会（札幌市道庁西棟） 参集者：役員9名 ：道（公共草地係 住田係長） 協議事項 1. 平成15年度春期研修会について ・ 開催月日、会場設定、講演内容、報告内容、懇親会場等々決定 2. 第31回定期総会について ・ 永年勤続推薦者及び役員功労表彰（退職による）者の審査決定 ・ 平成15年書き研修会の開催地について（厚岸町営牧場） 3. 平成14年度海外（NZ）研修企画集約について 4. 各種担当役員より活動等内容報告 5. その他 ・ 会計担当より会計中間報告・役員会旅費規程の見直しについて ・ 平成15年放牧サミット開催計画（北海道） ・ 30周年記念誌の正誤表の配布について 等々</li> </ul>	<p>7月20日：九州の集中豪雨で23人死亡。</p> <p>7月26日：【宮城で震度】宮城県北部で未明から夕方にかけて震度6強、震度6弱が計3回。675人が負傷、住宅など4945棟が全半壊。</p>
H15. 2. 12～13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十勝地区等ブロック研修会開催（担当者：山中氏）帯広市（音更町）参集者 52 名 概要：各牧場課題討論会（事前提出資料により） ：八千代牧場新牛舎と堆肥場地要状況の報告 ：講演 デントコーン簡易播種耕法について バイオガス利用について ：賛助会員紹介 ：現地研修（帯広畜産大学バイオガスプラント見学） 等々</li> </ul>	<p>9月10日：【外務審議官宅に発火物】田中均・外務審議官の東京都内に自宅に発火物が仕掛けられ、柔軟外交を避難する犯行声明が報道機関に届いた。</p>
H15. 2. 16～23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成14年度 北海道公共牧場会NZ海外研修実施 概要：参加者 19名（正会員等9名 賛助会員等10名）</li> </ul>	<p>9月26日：【十勝沖地震】北海道で未明から早朝にかけて2度の強い地震があり、浦河町ではともに震度6弱。400人以上が負傷。苫小牧市の出実光興産北海道製油所の原油タンクが火災を起こした。</p>
H15. 2. 20～21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道東地区等ブロック研修会開催（担当者：谷口幹事）佐呂間町 参集者 21 名 概要：牧野等の防疫対策について ：シート利用の簡易低コスト実証施設の事例発表及び視察 等々</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H15. 4. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度 会計監査事務等</li> </ul>	
H15. 4. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度 第3回役員会（ホクレンビル10F） 春期研修会及び定期総会に係る協議</li> <li>・平成15年度 春期研修会開催（ホクレンビル10F） 参加者 103名 講演 「牛海綿状脳症（BSE）発生時における現場対応について」 講師：名寄地区農業改良普及センター 所 長 城 毅 氏 講演 「これからのふん尿処理施設を考える」について 講師：北海道立畜産試験場 環境草地部 畜産環境科 渡部 敢 氏 報告 「平成13年度預託育成原価集計結果報告」 北海道公共牧場会担当者 「海外研修（NZ）結果報告」 北海道公共牧場会担当者 賛助会員事例発表及びPR（新技術及び新商品等紹介） 賛助会員 PR（6社） 懇親会（ホクレン直営店「大地」） 参加者 92名</li> </ul>	
H15. 4. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第31回定期総会（ホクレンビル10F） 出席 28 牧場及び書面議決 21 牧場 計 49 牧場</li> <li>1. 永年勤続職員等表彰（永年勤続職員 13名、役員功労表彰 1名）</li> <li>2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成14年度事業、収支決算報告、監査報告について（議案1・2号）</li> <li>②平成15年度事業計画について（議案3号）</li> <li>③北海道公共牧場会規約の改正について（議案4号）</li> <li>④北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案5号）</li> <li>⑤平成15年度収支予算（案）について（議案6号）</li> <li>⑥役員改選について（議案7号）</li> <li>⑦その他（既設置検討委員会等の廃止）</li> </ul> </li> </ul>	
H15. 4. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回役員会（ホクレン直営店「大地」において）参集者：牧場会 11名 内 容：北海道公共牧場会新役員による役割分担等について</li> </ul>	
H15. 5. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度 北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合わせ会議 (上士幌町において) 参集者：牧場会 山口会長 三宅副会長 長野幹事 谷口幹事 内 容：夏期研修会の取り組み方等について</li> </ul>	
H15. 7. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度 北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合わせ会議（厚岸町において） 参集者：牧場会 山口会長 三宅副会長 岡田副会長 長野幹事 谷口幹事 ：地 元 西野課長 中川係長 ：道 橋主任（草地企画G） 岡田主査（釧路支庁） 加藤主任（釧路支庁） 内 容：北海道公共牧場職員夏期研修会開催要領により (道主催から共催へ)</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H15. 8. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度 北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合わせ会議（厚岸町において）  参集者：牧場会 岡田副会長 谷口幹事  ：地 元 中川係長  ：道 橋主任（草地企画G） 岡田主査（釧路支庁）  内 容：北海道公共牧場職員夏期研修会の確認について</li> </ul>	
H15. 9. 4～5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回役員会（厚岸町生活改善センターにおいて）  参周者：道等2名 牧場会等9名  道より 夏期研修会開催詳細役割分担等について  牧場会より <ul style="list-style-type: none"> <li>・牧場会ホームページについて</li> <li>・ブロック研修会の集約状況について</li> <li>・海外研修（NZ）企画状況について</li> <li>・公共牧場の家畜ふん尿対策について 等々</li> </ul> </li> <li>・平成15年度 北海道公共牧場職員夏期研修会（厚岸町生活改善センターにおいて）  参集者 129名 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>「公共牧場の今後のあり方について」  講師：北海道立根釧農業試験場 主任研究員 坂本洋一 氏</li> <li>「公共牧場の管理運営の民営化及び広域連携について」  講師：（有）おうむアグリファーム 場 長 嶋村義文 氏</li> <li>「厚岸町営牧場の概要について」  講師：厚岸町営牧場 場 長 岡田 豊 氏</li> </ul> </li> <li>2. 交流会（ホテル金万） 参加者 103名</li> <li>3. 現地研修会（参加者 96名）  釧路太田農協哺育センター・厚岸町営牧場</li> </ol> </li> </ul>	
H15. 11. 25～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道南地区等ブロック研修会開催（担当者：八雲町乳牛育成牧場）八雲町  参集者 31名  概要：佐藤牧場の歩みと放牧酪農研究会の結成から今日まで  講師 足寄放牧研究会 会 長 佐藤智好・さくら 氏  ：デスクッション  ：現地研修  町内乳牛預託牧場（太田新生牧場）  八雲町乳牛育成牧場</li> </ul>	
H15. 11. 27～28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道東地区等ブロック研修会開催（担当者：標茶町育成牧場）標茶町  参集者 31名  概要：植物による水質浄化について  講師 加イ・エンジニアリング（株）代表取締役 大越武彦 氏  ：標茶町育成牧場における道外預託牛の衛生管理体制に向けた取  り組みについて  講師 北海道釧路家畜保健衛生所 専門員 奥村利盛 氏  ：釧路管内における放牧衛生対策について  講師 北海道釧路家畜保健衛生所 専門員 愛 高行 氏  ：標茶町育成牧場の概要について  説明員 標茶町育成牧場 場長補佐 本田万次郎氏  ：現地研修  北海道立標茶標茶高等学校敷地内「ネットロトグ-システム」の植物の  育成現場  加イ・エンジニアリング（株）工場</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	
H16. 1. 19~20	<p>・ <b>第3回役員会</b> (札幌市道庁西棟)  参集者：役員9名  ：道(農地整備課 長尾 主幹・橋 主任)</p> <p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成16年度春期研修会について <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日、会場設定、講演内容、報告内容、懇親会場等々決定</li> </ul> </li> <li>2. 第32回定期総会について <ul style="list-style-type: none"> <li>・永年勤続推薦者及び役員功労表彰(退職による)者の審査決定</li> <li>・平成16年夏期研修会の開催地について (豊富町大規模草地育成牧場)</li> </ul> </li> <li>3. 平成15年度海外(NZ)研修企画の結果</li> <li>4. 各種担当役員より活動等内容報告</li> <li>5. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計担当より会計中間報告</li> <li>・役員会旅費規程の見直しについて 等々</li> </ul> </li> </ol>	<p>5月27日:イラクで日本人フリー記者2人が襲撃され死亡。</p> <p>7月24日:憲法9条を守るために加藤周一や鶴見俊輔ら9人の文化人が立ち上げた「<b>九条の会</b>」の発足記念講演会「憲法  九条、今こそ句」が、都内のホテルで開催された。</p> <p>7月:白骨温泉で温泉に着色していたことが発覚。</p>
H16. 1. 29~30	<p>・ <b>道北地区等ブロック研修会開催</b> (担当者:豊富町大規模草地育成牧場) 豊富町  参集者 28名</p> <p>概要:放牧を主体とする育成牛の管理について  講師 雪印種苗 北海道研究農場飼料研修室 籠前直紀 氏  :これからの公共牧場の運営の模索  講師 (有)おうむアグリファーム 場 長 嶋村義文 氏  :現地研修  豊富町大規模草地育成牧場</p>	
H16. 2. 17~18	<p>・ <b>十勝地区等ブロック研修会開催</b> (担当者:大樹町営牧場) 帯広市(音更町)  参集者 47名</p> <p>概要:公共牧場における牛受精卵移植の応用  講師 北海道農業開発公社十勝育成牧場  副場長(獣医師) 山科秀也 氏  :賛助会員紹介  :各牧場との情報交換</p>	
H16. 3. 29	<p>・ <b>公共牧場における家畜伝染病協議</b> (担当者:浦幌町模範牧場) 十勝家保  参集者 20名</p> <p>概要:ヨ一ネ病患畜発生への対応  : B S E 患畜発生への対応</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国外内の動き
H16. 4. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度 会計監査事務等</li> </ul>	
H16. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度 第4回役員会（ホクレンビル10F） 春期研修会及び定期総会に係る協議</li> </ul>	
H16. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度 春期研修会開催（ホクレンビル10F） 参加者 94名 講演 「公共牧場のこれからの在り方について」 講師：北海道農業会議 事務局長代理 広畑 雄三 氏 報告 「公共牧場における家畜ふん尿対策の現況について」 北海道公共牧場会担当者 賛助会員事例発表及びPR（新技術及び新商品等紹介） 賛助会員PR（6社） 懇親会（ホクレン直営店「大地」） 参加者 74名</li> </ul>	
H16. 4. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第32回定期総会（ホクレンビル10F） 出席 29 牧場及び書面議決 23 牧場 計 52 牧場 1. 永年勤続職員等表彰（永年勤続職員 12 名、役員功労表彰 2 名） 2. 議事 ①平成15年度事業、収支決算報告、監査報告について（議案1・2号） ②平成16年度事業計画について（議案3号） ③北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案4号） ④平成16年度収支予算（案）について（議案5号） ⑤その他</li> </ul>	
H16. 4. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域等直接支払い制度に係る意見交換会（ホクレンビル10F） 参加者 45名</li> </ul>	
H16. 6. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度 北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合わせ会議（豊富町において） 参集者：牧場会 山口会長 三宅副会長 長野幹事 野々村幹事 谷口幹事 ：地 元 河原農政課長 古川課長補佐 小林主事 西村主事 ：道 福島主査 橋主任（草地企画G） 大坂主任 強力技師（宗谷支庁） 内 容：北海道公共牧場職員夏期研修会開催要領により</li> </ul>	
H16. 8. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度 北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合わせ会議（豊富町において） 参集者：牧場会 野々村幹事 谷口幹事 ：地 元 河原農政課長 古川課長補佐 小林主事 西村主事 ：道 橋主任（草地企画G） 大坂主任 強力技師（宗谷支庁） 内 容：北海道公共牧場職員夏期研修会の確認について</li> </ul>	
H16. 8. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回役員会（豊富町町民センターにおいて） 参集者：道等1名 牧場会10名、地元1名 道より 夏期研修会開催詳細役割分担等について 牧場会より ・北海道公共牧場会の会費の額の改定について ・北海道公共牧場会表彰要綱の確認について ・海外研修（NZ）企画状況について ・北海道公共牧場会ブロック研修について ・北海道公共牧場会海外研修について 等々</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H16. 8. 26～27	<p>・平成16年度 北海道公共牧場職員夏期研修会（豊富町町民センターにおいて） 参集者 104名</p> <p>1. 講演  「公共牧場に係る草地及び家畜飼養管理技術について」  講師：道立天北農業試験場 主任専門技術員 三浦 康雄 氏  「発情発見機を利用した繁殖管理について」  講師：道立根釧農業試験場 乳牛繁殖科 大滝 忠利 氏  「衛星を利用した草地の分析及び追播について」  講師：道立根釧農業試験場 作物科長 佐藤 尚親 氏  「豊富町大規模草地育成牧場の概要について」  講師：豊富町大規模草地育成牧場 場長 野々村能広 氏</p> <p>2. 交流会（ホテル豊富） 参加者 86名  3. 現地研修会（参加者 61名）  幌延町トナカイ観光牧場・豊富町大規模草地育成牧場</p>	
H16. 10. 12	<p>・道東地区等ブロック研修会に係る事務打合せ（西春別農業協同組合において）  参集者：牧場会 山口会長 谷口幹事  ：地 元 西春別農業協同組合 小山内生産部長</p>	
H16. 11. 8～15	<p>・北海道公共牧場会海外研修（ニュージーランド：全参加者 18名・牧場会会員 10名）</p>	
H17. 1. 11	<p>・道南地区等ブロック研修会開催（担当者：八雲町乳牛育成牧場）八雲町  参集者 18名</p> <p>概要：公共牧場における集約放牧の実践について  講師 浦幌町模範牧場 場長 三宅 英彰 氏  ：各牧場からの情報提供  ：ディスカッション</p>	
H17. 1. 27	<p>・第2回役員会（北海道庁本庁舎9F 職員監会議室）  参集者：牧場会 役員9名  ：道 福島主査 橋主任（農地整備課）  小澤主幹 関根主査（酪農畜産課）</p> <p>協議事項  1. 平成17年度春期研修会について  ・開催月日、会場設定、講演内容、報告内容、懇親会場等々決定  2. 第33回定期総会について  ・永年勤続推薦者及び役員功労表彰（退職による）者の審査決定  ・平成17年夏期研修会の開催地について  （有）おうむアグリファーム  3. 平成16年度海外（NZ）研修企画の結果  4. 各種担当役員より活動等内容報告  5. その他  ・会計担当より会計中間報告 等々</p>	
H17. 2. 1	<p>・シンポジウム「人と牛とのふれあい」—自然・生活体験への誘い—  （会場：東京農業大学百周年記念講堂：出席者 1名）</p> <p>特別基調講演  テーマ：「あなたの遺伝子が目覚めるとき」  村上 和雄（筑波大名誉教授）</p> <p>事例報告  テーマ：「公共牧場の運営と牧場体験」  中村 哲雄（岩手県葛巻町町長）</p> <p>テーマ：「牛飼いと地域社会」  中島 邦造（なかとみ牧場経営者）</p> <p>テーマ：「『いのち』を感じる体験学習」 三好 直子  （（社）日本ネイチャーゲーム協会指導者養成委員）</p> <p>パネルディスカッション</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H16. 2. 7~8	<p>・道東地区等ブロック研修会開催 (担当者：根室管内牧場会) 中標津町 参集者 43名</p> <p>概要：各牧場・育成センターの現況課題と方向性  講師 南根室地区農業改良普及センター  専門普及員 堀内 正洋 氏</p> <p>：これからの牧野衛生と留意点  講師 根室家畜保健衛生所  獣医師 田友起子 氏</p> <p>：北海道公共牧場会海外研修（ニュージーランド）報告  講師 浦幌町模範牧場  場長 三宅 英彰 氏</p>	
H16. 2. 15~16	<p>・十勝地区等ブロック研修会開催  (担当者：中札内大規模草地育成牧場) 音更町 参集者 55名</p> <p>概要：これからの公共牧場運営について  講師 (有)おうむアグリファーム  場長 嶋村 義文 氏</p> <p>：ニュージーランドの酪農事情  講師 浦幌町模範牧場  場長 三宅 英彰 氏</p> <p>：放牧衛生の現状と課題について  講師 十勝家畜保健衛生所  指導課長 小林 平治 氏</p>	
H16. 2. 17~18	<p>・道北地区等ブロック研修会開催 (担当者：士別大和牧場) 上川町 参集者 32名</p> <p>概要：公共牧場における放牧育成管理について  講師 雪印種苗 北海道研究農場 阿部健太郎 氏</p> <p>：公共牧場における草地管理について  講師 雪印種苗 北海道研究農場 谷津 英樹 氏</p> <p>：海外研修報告  講師 浦幌町模範牧場 場長 三宅 英彰 氏</p>	



年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H17. 4. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年度会計監査事務等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部国際空港開港</li> </ul>
H17. 4. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年度第3回役員会（ホクレンビル10F） 春期研修会及び定期総会に係る協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知万博（愛・地球博）開幕</li> </ul>
H17. 4. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度春期研修会（ホクレンビル10F） 参集者 81名 講演 「哺育と公共牧場の連携」道立根釧農業試験場 経営科長 原 仁 氏 「公共牧場の機能再編整備」酪農総合研究所 第一研究部長 寺西 正俊 氏 報告 「平成17年度畜産公共関係予算」について 農政部農地整備課草地整備グループ 主査（道営）佐々木芳治 氏 賛助会員事例発表及び新商品等の紹介 賛助会員PR 3社 懇親会 ホテルポールスター札幌 参加者 77名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府、中央官庁で夏の軽装推進運動「クールビズ」がスタート</li> <li>日本道路公団など道路関係4公団の民営化スタート</li> <li>首都圏のマンション・ホテル等で耐震強度偽装問題が発覚</li> </ul>
H17. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>第33回定期総会（ホクレンビル10F） 出席者 27 牧場、書面決議 17 牧場 計 44 牧場 1. 永年勤続職員等表彰（13名） 2. 議事 ①平成16年度事業、終始決算報告、監査報告について（議案1・2号） ②平成17年度事業計画について（議案3号） ③北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案4号） ④平成17年度収支予算（案）について（議案5号） ⑤役員改選について（議案6号）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総選挙で自民党が圧勝</li> </ul>
H17. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度第1回役員会（ホクレンビル10F） 役割分担及び引継ぎ</li> </ul>	
H17. 6. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合せ会議（雄武町にて） 参集者 牧場会 岡田会長、三宅副会長、野々村副会長、嶋村幹事、富谷幹事 山中幹事、荻本幹事 地元 片岡課長、石井課長補佐、新谷係長 道 石間主任（網走支庁） 内容 平成17年度北海道公共牧場職員夏期研修会の開催について</li> </ul>	
H17. 7. 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼料自給率向上戦略会議（道庁別館） 出席者 1名 協議内容 北海道飼料自給率向上戦略会議の設立について 飼料生産をめぐる情勢について 等々</li> </ul>	
H17. 8. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度第2回役員会（雄武町町民センター） 参集者 牧場会 9名、地元 1名、道 2名 夏期研修会開催詳細役割分担等について 北海道公共牧場会海外研修について 北海道公共牧場会ブロック研修について 春期研修会の開催について 等々</li> </ul>	
H17. 8. 24～25	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度北海道公共牧場職員夏期研修会（雄武町町民センター） 参集者 110名 講演 「草地の簡易更新について」道立根釧農業試験場 作物科長 佐藤 尚親 氏 「哺育と公共牧場の連携について」道立根釧農業試験場 経営科長 原 仁 氏 「(有) おうむアグリファームの概要について」 (有) おうむアグリファーム 場長 嶋村 義文 氏 交流会 ホテル日の出岬 参加者 105名 現地研修 (有) おうむアグリファーム</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H17. 10. 14～15	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度第3回役員会（南富良野町） 参集者 8名 全国肉牛事業協同組合の預託希望について 北海道公共牧場会ブロック研修会の開催について 等々</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本郵政株式会社発足</li> <li>2007年の郵政民営化実現に向け始動</li> </ul>
H17. 10. 19～20	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度北海道ブロック公共牧場体制推進会議 出席者 1名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部国際空港開港</li> </ul>
H17. 11. 6～13	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道公共牧場会海外研修 研修先 ニュージーランド 全参加者 名、牧場会参加者 2名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者自立支援法施行</li> <li>ジャワ島地震</li> </ul>
H18. 1. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>道南ブロック等研修会（担当 八雲町乳牛育成牧場）八雲町 参集者 12名 概要 「これからの酪農経営と農業支援組織の役割について」 講師 道立根釧農業試験場 研究部経営科長 原 仁 氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリン価格急騰. 15年ぶりの高水準</li> <li>携帯電話番号ポータビリティ制度開始</li> </ul>
H18. 1. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度第4回役員会（北海道庁中会議室） 参集者 牧場会 6名、道 2名 協議事項 平成18年度春期研修会について 第34回定期総会について 平成18年度北海道公共牧場職員等夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>景気拡大が58ヵ月、「いざなぎ景気」を超え、戦後最長に。</li> </ul>
H18. 1. 26～27	<ul style="list-style-type: none"> <li>道北ブロック等研修会（担当 富良野広域串内草地組合）南富良野町 参集者 36名 概要 「公共牧場における衛生対策の現状について」 講師 上川家畜保健衛生所 主査 千葉 裕代 氏 「牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）持続感染牛の発生例について」 講師 富良野地区農業共済組合 診療係長 伊藤 清志 氏 「牛用ワクチンの現状と取り組みについて」 講師 （株）微生物科学研究所 札幌事務所長 畠山 捷彦 氏</li> </ul>	
H18. 2. 9～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>道東ブロック等研修会（担当 厚岸町営牧場）厚岸町 参集者 37名 概要 「公共牧場における哺育からの一環経営と日常作業の流れについて」 講師 浜中農業協同組合育成牧場 場長 君塚 昭久 氏 「獣医から見た牧野衛生について」 講師 釧路地区NOSA I厚岸支所診療課長 高橋 俊彦 氏</li> </ul>	
H18. 2. 23～24	<ul style="list-style-type: none"> <li>十勝ブロック等研修会（担当 新得町営育成牧場）音更町 参集者 51名 概要 「公共牧場における草地管理・草地更新について」 講師 北海道立畜産試験場 草地科研究員 主査 伊藤 憲治 氏 「と価値観内の公共牧場における放牧衛生対策について」 講師 十勝家畜保健衛生所 指導課長 繁在家 輝子 氏 獣医師 林 紋太郎 氏</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H18. 4. 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年度第5回役員会及び会計監査事務等（ホテルポールスター札幌） 内容 春期研修会及び定期総会に係る協議及び会計監査事務等</li> <li>・平成18年度春期研修会開催（ホテルポールスター札幌2F） 参集者78名 講演 「(社)北海道草地協会補助事業の概要・今後の北海道酪農の方向性」 北海道草地協会 常務理事 川畑 恵洋 氏 「地理情報システムを利用した放牧利用促進支援システムの取り組み」 (株)GIS北海道 技術部技術二課 永淵 拓二 氏 「牛サルモネラ症対策」について 石狩家畜保健衛生所 病性鑑定課 主査 中岡 祐司 氏 「ヨーネ病の発生状況・口蹄疫の現状」について 石狩家畜保健衛生所 予防課 主査 山本 泰弘 氏</li> <li>報告 「平成18年度畜産公共関係予算」について 農政部農地整備課草地せいぶグループ 主査 宮崎 泰弘 氏</li> <li>懇親会 ホテルポールスター札幌 参加者65名</li> </ul>	
H18. 4. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第34回定期総会（ホテルポールスター札幌4F） 出席者18牧場、書面決議18牧場、計36牧場</li> <li>1. 永年勤続職員表彰（4名）</li> <li>2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成17年度事業、収支決算報告、監査報告について（議案1・2号）</li> <li>②平成18年度事業計画について（議案3号）</li> <li>③北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案4号）</li> <li>④平成18年度収支予算（案）について（議案5号）</li> </ul> </li> <li>・寄生虫駆除剤の見積もり合わせ 役員3名 見積もり業者5者</li> <li>・平成18年度第1回役員会（ホテルポールスター札幌4F） 9名 内容 役割分担と夏期研修会等について（役員8名、道2名）</li> </ul>	
H18. 6. 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合せ会議（鹿追町にて） 参集者 牧場会 岡田会長、三宅副会長、山中幹事、荻本幹事 地元 （町）渡辺係長、(JA)上村部長、吉田課長、(ホテル)2名 道 石澤主任（十勝支庁）</li> <li>内容 平成18年度北海道公共牧場職員夏期研修会の開催について</li> </ul>	
H18. 8. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度第2回役員会（鹿追町町民ホール） 参集者 牧場会6名、地元3名、道2名</li> <li>夏期研修会開催詳細役割分担等について</li> <li>北海道公共牧場会海外研修について</li> <li>北海道公共牧場会ブロック研修について</li> <li>春期研修会の開催について 等々</li> </ul>	
H18. 8. 23～24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度北海道公共僕職員夏期研修会（鹿追町町民ホール）参集者91名 基調講演 「放牧地の糞分解性昆虫類とそれらに及ぼす 牛用駆虫剤の影響—放牧環境の保全へ向けて—」 帯広畜産大学 教授 岩佐 光啓 氏</li> <li>講演 「公共牧場の運営改善について」浦幌町模範牧場 場長 三宅 英彰 氏 「鹿追町乳牛育成牧場の概要について」鹿追町乳牛育成牧場 場長 柴田 雅 紀 氏</li> <li>交流会 ホテル福原 参加者62名</li> <li>現地研修 鹿追町乳牛育成牧場</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H19. 2. 6	<p>J A 鹿追町哺育育成牧場 J A 鹿追町コントラ課</p> <p>・北海道草地ネットワーク交流会設立準備会（札幌ガーデンパレス）1名出席 協議事項 交流会設立に向けた意見交換と呼びかけ人等について</p>	<p>・北海道夕張市、財政再建団体に</p> <p>・第21回参院選で与党が大敗し、議席過半数割れに</p>
H19. 2. 7	<p>・平成18年度第3回役員会（北海道庁中会議室） 参集者 牧場会7名、道2名 協議事項 平成19年度春期研修会について 第35回定期総会について 平成19年度北海道公共牧場職員夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</p>	<p>・2006年度食料自給率が39%と13年ぶりに40%割れ</p>
H19. 2. 15～16	<p>・道東ブロック等研修会（担当 標茶町育成牧場）標茶町 参集者 24名 概要 「標茶町育成牧場哺育入牧検査と疾病予防対策について」 講師 釧路家畜保健衛生所 指導課長 岡崎 ひづる 氏 「標茶町育成牧場における哺育事業疾病プログラムについて」 講師 釧路地区NOSA I 標茶支所東部診療課長 小崎 洋一 氏 「標茶町育成牧場の哺育事業について」 講師 標茶町育成牧場 場長 表 武之 氏</p>	<p>・米国のサブプライム住宅ローン問題を発端とする金融市場の動揺を受け、東京株式市場の日経平均株価急落。世界的な株安に歯止めがかからず</p> <p>・日本郵政公社が民営化</p>
H19. 2. 21～22	<p>・十勝ブロック等研修会（担当 上士幌町ナイタイ高原牧場）帯広市 参集者 34名 概要 「酪農経営に求められる育成牛と公共牧場の役割」 講師 北海道新得畜産試験場技術普及部 主任普及指導員 菊地 実 氏 「全農ETセンターの取り組みと今後の展開」 講師 全農ETセンター 所長 青柳 敬人 氏</p>	
H19. 4. 11	<p>・平成18年度第4回役員会（釧路・ルスタ-札幌）参集者 牧場会7名 協議事項 平成19年度春期研修会について 第35回定期総会について 平成19年度北海道公共牧場職員等夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H19. 4. 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度第4回役員会及び会計監査事務等（ホテルポールスター札幌） 内容 春期研修会及び定期総会に係る協議及び会計監査事務等</li> <li>・平成19年度春期研修会開催（ホテルポールスター札幌2F） 参集者84名 講演 「日豪EPA/FTAの交渉」について 北海道農政部農政課 主査 田中 雅明 氏 「生乳の計画生産」について ホクレン農業協同組合連合会 生乳共販課 課長補佐 篠永 彰仁 氏 報告 「平成19年度畜産公共関係予算」について 農政部農地整備課草地整備グループ 主査 宮崎 泰弘 氏 懇親会 ホテルポールスター札幌 参加者64名</li> </ul>	
H19. 4. 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第35回定期総会（ホテルポールスター札幌4F） 出席者22牧場、書面決議20牧場 計42牧場 1. 永年勤続職員等表彰（8名） 2. 議事 ① 平成18年度事業、終始決算報告、監査報告について（議案1・2号） ② 平成19年度事業計画について（議案3号） ③ 北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案4号） ④ 平成19年度収支予算（案）について（議案5号） ⑤ 役員改選について（議案6号）</li> <li>・寄生虫駆除剤の見積もり合わせ 役員2名、見積業者6業者</li> <li>・平成19年度第1回役員会（ホテルポールスター札幌4F） 9名 内容 役割分担と夏期研修会等について（役員7名、道1名、せたな町1名）</li> </ul>	
H19. 6. 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合せ会議（せたな町にて） 参集者 牧場会 三宅会長、中島幹事、荻本幹事 地元 （町）水野課長、河原係長、（JA）道高部長（ホテル）1名 道 上杉主査、小林主任（桧山支庁） 内容 平成19年度北海道公共牧場職員夏期研修会の開催について</li> </ul>	
H19. 8. 27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度第2回役員会（せたな町国民宿舎） 参集者 牧場会6名、地元2名、道2名 夏期研修会開催詳細役割分担等について 北海道公共牧場会海外研修について 北海道公共牧場会ブロック研修について 春期研修会の開催について 等々</li> </ul>	
H19. 8. 27～28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度北海道公共牧場職員夏期研修会（せたな町あわび山荘）参集者71名 技術紹介 「超音波を用いた早期妊娠鑑定について」 道南農業共済組合 北部支所長 豊 伸吾 氏 講演 「せたな町営牧場の概要について」 せたな町営牧場 場長 道高 義智 氏 基調講演 「新たな状況下における公共牧場の活性化対策」 北里大学獣医学部FSC センター長 萬田 富治 氏 交流会 あわび山荘 参加者59名 現地研修 せたな町営牧場（現地説明、超音波による妊娠鑑定実演）</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H20. 1. 29	<p>友善牧場（放牧酪農についての現地研修）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道南ブロック等研修会（担当 八雲町育成牧場）八雲町 参集者 75 名 「海外情勢を踏まえた生乳需給と今後の酪農動向」について 講師 ホクレン酪農畜産事業本部 酪農部生乳受託課 村上 淳 氏 「農業者年金制度の仕組みと政策支援」 講師 北海道農業会議 総務企画部 調査役 三本 義輝 氏 「ヒグマの進入を防ぐ電気柵の設置方法」 講師 渡島支庁地域振興部環境生活課自然環境係 主任 橋本 和彦 氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要8 カ国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)が開幕</li> <li>・燃料代高騰を受け、全国の17 漁業団体が約20 万隻の一斉休漁に踏み切る</li> </ul>
H20. 2. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度第3回役員会（北海道庁中会議室）参集者 牧場会 7名、道2名 協議事項 平成20年度春期研修会について 第36回定期総会について 平成20年度北海道公共牧場職員等夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要8 カ国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)が開幕</li> <li>・燃料代高騰を受け、全国の17 漁業団体が約20 万隻の一斉休漁に踏み切る</li> </ul>
H20. 3. 17～18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝ブロック等研修会（担当 鹿追町乳牛育成牧場）音更町 参集者 41名 概要 「飼料高騰の元での集約放牧の活用」 講師 北海道新得畜産試験場 家畜研究部長 小関 忠雄 氏 「十勝管内公共牧場の主な疫病の発生状況と対策」 講師 十勝家畜保健衛生所 指導課長 繁在家 輝子 氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米証券大手リーマン・ブラザーズが経営破綻</li> <li>・全米で大統領選が投開票され、民主党のバラク・オバマ氏が第44 代大統領に決定</li> </ul>
H20. 4. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度第4回役員会（札幌・ルスタ-札幌）参集者 牧場会 7名、道2名 協議事項 平成19年度春期研修会について 第35回定期総会について 平成19年度北海道公共牧場職員等夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
H20. 4. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度第4回役員会及び会計監査事務等（ホテルポールスター札幌） 内容 春期研修会及び定期総会に係る協議及び会計監査事務等</li> <li>・平成20年度春期研修会開催（ホテルポールスター札幌2F） 参集者 76名 講演 「公共牧場における哺育牛の受入」について 道立畜産試験場 基盤研究部感染予防科長 仙名 和浩 氏 「公共牧場における牛の行動と福祉」について 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司 氏 報告 「平成20年度畜産公共関係予算」について 農政部農地整備課草地整備グループ 主査 宮崎 泰弘 氏</li> <li>・寄生虫駆除剤の見積もり合わせ 役員2名、見積業者4業者</li> <li>・懇親会 ホテルポールスター札幌 参加者 66名</li> <li>・第36回定期総会（ホテルポールスター札幌4F） 出席者 16牧場、書面決議 16牧場 計 32牧場</li> </ul>	
H20. 4. 9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 永年勤続職員等表彰（7名）</li> <li>2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成19年度事業、終始決算報告、監査報告について（議案1・2号）</li> <li>②平成20年度事業計画について（議案3号）</li> <li>③北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案4号）</li> <li>④平成20年度収支予算（案）について（議案5号）</li> </ul> </li> <li>・平成20年度第1回役員会（ホテルポールスター札幌4F） 内容 役割分担と夏期研修会等について（役員6名、道1名）</li> </ol>	
H20. 6. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合せ会議（別海町にて） 参集者 牧場海 三宅会長、篠崎副会長、中島幹事、山中幹事、荻本幹事 地元 （町）山崎主幹、門脇主査、菅野主任 道 荒関主任、沖田主査、林研究員 内容 平成20年度第2回北海道公共牧場職員夏期研修会の開催について</li> </ul>	
H20. 8. 27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度第2回役員会（別海町マルチメディア館） 参集者 牧場会6名、地元1名、道1名 夏期研修会開催詳細役割分担等について 北海道公共牧場会海外研修について 北海道公共牧場会ブロック研修について 春期研修会の開催について 等々</li> </ul>	
H20. 8. 27～28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度北海道公共牧場職員夏期研修会（別海町マルチメディア館） 参集者 105名 講演 「寒冷地におけるデントコーンの作付け」について 道立根釧農業試験場 研究部作物科 研究員 林 拓 氏 「別海町営畜牛育成牧場の概要」について 別海町営畜牛育成牧場 主任 菅野 利郎 氏 「アンケート結果から得られた預託者の声」について 根室農業改良普及センター 主査 沖田 和樹 氏 「草地管理」について 中標津町 酪農家 三友 盛行 氏 交流会 ウェディングプラザ別海 参加者 77名</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
	<p>現地研修 別海町営畜牛育成牧場（現地説明） （有）別海町酪農研修牧場（現地説明）</p>	
H21. 2. 17	<p>・平成20年度第3回役員会（北海道庁西棟会議室3）参集者 牧場会6名、道2名 協議事項 平成21年度春期研修会について 第37回定期総会について 平成21年度北海道公共牧場職員等夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</p>	<p>・主要8カ国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）が開幕 ・燃料代高騰を受け、全国の17漁業団体が約20万隻の一斉休漁に踏み切る ・北京オリンピックが開幕 ・レギュラーガソリン全国平均小売価格が1リットル185.5円となり、調査開始以来の最高値を更新</p>
H21. 2. 20～21	<p>・十勝ブロック等研修会（担当 足寄町大規模草地育成牧場）音更町 参集者38名 概要 「先進地に学ぶ草地管理技術と道内牧場の事例」 講師 浦幌町模範牧場 場長 三宅 英彰 氏 パネルディスカッション「預託牛からのメッセージに伝えよう！！」 コーディネーター 酪農学園大学 農業経済学科教授 荒木 和秋 氏</p>	<p>9月 ・全米で大統領選が投票開票され、民主党のバラク・オバマ氏が第44代大統領に決定</p>
H21. 2. 26～27	<p>・道北ブロック等研修会（担当 富良野広域串内草地組合）南富良野町 参集者29名 概要 「公共牧場における施肥管理と草地更新」 講師 上川農業試験場天北支場技術普及部 主任普及指導員 山下 一夫 氏 「ワクチンプログラムによる牧野衛生」 上川家畜保健衛生所 主査 大根田 則広 氏</p>	
H21. 4. 14	<p>・平成20年度第4回役員会（札幌・ルスタ-札幌）参集者 牧場会6名、道名 協議事項 平成21年度春期研修会について 第37回定期総会について 平成21年度北海道公共牧場職員等夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</p>	





年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	国内外の動き
	<p>交流会 八雲町役場特設会場 参加者 50 名</p> <p>現地研修 北里大学獣医学部 F S C 八雲牧場 八雲町育成牧場</p>	<p>・全米で大統領選が投票開票され、民主党のバラク・オバマ氏が第44 代大統領に決定</p>
H21. 8. 28	<p>・平成 2 1 年度台 3 回役員会（八雲町育成牧場事務所）参集者 5 名 中山間地域直接支払制度について</p>	
H21. 10. 7～8	<p>・平成 2 1 年度初任者研修会（帯広市千代田牧場 外）参加者 45 名 概要 草地の見方、家畜の見方、施設管理方法、飼料計算方法 外</p>	
H22. 2. 18	<p>・道南ブロック等研修会（担当 八雲町育成牧場）七飯町 参集者 102 名 概要 「堆肥の循環による美味しい飼料づくり」 講師 浦幌町模範牧場 牧場長 三宅 英彰 氏 「資源循環を可能とする家畜生産システム」 講師 北海道大学大学院農学研究院 教授 近藤 誠司 氏</p>	
H22. 2. 18～19	<p>・十勝ブロック等研修会（担当 帯広市八千代牧場 外）参加者 45 名 概要 「育成牛の管理」 講師 北海道畜産試験場 技術普及部 主任普及員 並川 幹広 氏 「牧草地の現状と管理」 講師 北海道畜産試験場 技術普及部 部長 森本 正隆 氏 「牧草と雑草の見分け方」 講師 北海道畜産試験場 環境草地部 部長 山川 政明 氏 各牧場問題点の協議</p>	
H22. 2. 25～26	<p>・道北ブロック等研修会（担当 中川町営牧場）中川町 参集者 20 名 概要 「中川町における牛白血病対策について」 講師 上川家畜保健衛生所 獣医師 早川 潤 氏 「家族で楽しむ酪農生活～持続可能なシンプル経営～」 講師 中川町酪農家 小林 治雄 氏 書く牧場間の情報交換</p>	
～	<p>・道東ブロック等研修会（担当 標茶町育成牧場）標茶町 参集者 25 名</p>	
H22. 3. 8	<p>・平成 2 1 年度代 4 回役員会（道庁第 1 中会議室）参集者 7 名 平成 2 2 年度春期研修会について 第 3 8 回定期総会について 平成 2 2 年度夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</p>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	
H22. 4. 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度第5回役員会及び会計監査事務等（道庁別館 地下小会議室）7名 協議事項 春期研修会及び定期総会に係る協議及び会計監査事務等</li> </ul>	宮崎県内で国内では10年ぶりに口蹄疫の発生
H22. 4. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄生虫駆除剤の見積もり合わせ 役員2名 見積業者6業者</li> <li>第38回定期総会（ホテル・ルスタ-札幌4F） 出席者23牧場、書面決議23牧場 計46牧場 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 永年勤続職員等表彰（14名）</li> <li>2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成21年度事業、収支決算報告、監査報告について（議案1・2号）</li> <li>②平成22年度事業計画について（議案3号）</li> <li>③全国公共牧場協議会への加入について（議案4号）</li> <li>④北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案5号）</li> <li>⑤平成22年度収支予算（案）について（議案6号）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>平成22年度春期研修会開催（ホテル・ルスタ-札幌2F） 講演 「ピロプラズマ病予防と育成牧場の繁殖管理」について 北海道農業開発公社十勝育成牧場 副場長 山科 秀也 氏 講演 「放牧牛の栄養管理」について 北海道大学大学院農学研究院 畜牧体系学研究室 准教授 上田 宏一郎 氏 報告 「平成22年度畜産公共関係予算」について 農政部農地整備課草地整備グループ 主査 中村 直人 氏</li> </ul>	
H22. 6. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合せ会議（帯広市にて） 参集者 牧場会 三宅会長、柴田幹事、荻本幹事 地元 山中場長、大橋主任補 日草協 深水主幹 内容 平成22年度北海道公共牧場職員夏期研修会の開催中止について</li> </ul>	
H22. 8. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道飼料自給率向上戦略会議（道庁）出席者1名 協議内容 飼料生産をめぐる情勢について 平成22年度北海道行動計画について 等々</li> </ul>	
H23. 2. 24～25	<ul style="list-style-type: none"> <li>十勝ブロック等研修会（担当 大樹町牧場）音更町 参集者36名 概要 「宮崎県における口蹄疫防疫作業の現場から」 講師 十勝家畜保健衛生所 病勢鑑定課 主査 小岸 憲正 氏 「PPロープでモクシ作り」 講師 大樹町育成牧場 業務係長 外島 健三 氏 各牧場問題点の協議</li> </ul>	
H23. 3. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度第2回役員会（道庁第 会議室）参集者5名 平成23年度春期研修会について 第39回定期総会について 平成23年度夏期研修会について 各担当役員より活動内容等報告 等々</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	
H23. 4. 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度第3回役員会及び会計監査事務等(ホテルポールスター札幌) 春期研修会及び定期総会に係る協議並びに会計監査事務等</li> <li>・平成23年度春期研修会(ホテルポールスター札幌) 講演 「公共牧場における防疫体制」について 北海道農政部畜産振興課家畜衛生グループ 主査 菅野 宏 氏 講演 「公共牧場における寄生虫対策」について バイエル薬品(株)動物用薬品事業部 テクニカルサービス 松葉 浩里 氏 報告 「平成23年度畜産公共関係予算」について 農政部農地整備課草地整備グループ 主査 中村 直人 氏</li> <li>・寄生虫駆除剤の見積もり合わせ 役員2名 見積業者6業者</li> <li>・懇親会 ホテルポールスター札幌 参加者53名</li> </ul>	
H23. 4. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第39回定期総会(ホテルポールスター札幌4F) 出席者22牧場、書面決議22牧場 計44牧場</li> <li>1. 永年勤続職員等表彰(7名)</li> <li>2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成22年度事業、収支決算報告、監査報告について(議案1・2号)</li> <li>②平成23年度事業計画について(議案3号)</li> <li>③北海道公共牧場会会費額及び納入時期について(議案4号)</li> <li>④平成23年度収支予算(案)について(議案5号)</li> <li>⑥ 役員改選について</li> </ul> </li> <li>・平成23年度第1回役員会(ホテルポールスター札幌) 参集者8名</li> </ul>	
H23. 6. 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合せ会議(音更町十勝川温泉) 参集者6名 概要 平成23年度北海道公共牧場職員夏期研修会の開催について</li> </ul>	
H23. 8. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道飼料自給率向上戦略会議(道庁) 出席者1名 概要 飼料生産をめぐる情勢について 平成23年度北海道行動計画について 等々</li> </ul>	
H23. 8. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度北海道公共牧場会第2回役員会(十勝川温泉第一ホテル) 参集者5名 概要 夏期研修会詳細の役割分担等について 北海道公共牧場会ブロック研修会について 北海道公共牧場会40周年記念事業について 等々</li> </ul>	
H23. 8. 31～ H23. 9. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度北海道公共牧場職員夏期研修会(十勝川温泉第一ホテル) 参集者78名 講演 「育成牛の飼養管理メカニズム」について 地方独立行政法人 根釧農業試験場研究部 大坂 郁夫 氏 講演・実習 「牧柵の施行技術」について (有) アグ・キー 代表取締役 荒木 邦夫 氏</li> <li>・交流会 十勝川温泉第一ホテル 参加者49名</li> <li>・グループディスカッション 参加者52名</li> </ul>	

年 月 日	北海道公共牧場会の主な出来事	
H23. 10. 13～ H23. 10. 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度北海道公共牧場会初任者研修会（中標津町・根釧農業試験場）参集者19名 フィールド研修 「家畜の見方の要領・牧区巡視の仕方・家畜の捕縛の要領等」について 北海道公共牧場会 会長 三宅 英彰 氏 根釧農業試験場研究部 主管 大坂 郁夫 氏 根釧農業試験場 研究主幹 三枝 俊哉 氏</li> <li>座学 「フィールド研修の理論学習・飼料計算・繁殖整理の基本等」について 北海道公共牧場会 会長 三宅 英彰 氏</li> </ul>	
H23. 12. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道南ブロック研修会（八雲町） 参集者130名 講演 「TPP問題を考える」 日本大学生物資源科学部 教授 下渡 敏治 氏 「TPPと北海道農業の行方」 北海道農民連盟 書記長 白川 祥二 氏</li> </ul>	
H24. 2. 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度第3回役員会（道庁会議室） 参集者 8名 概要 春期研修会について 定期総会について 等当</li> </ul>	
H24. 3. 8～ H24. 3. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝ブロック等研修会（帯広市） 参集者 24名 講演 「口蹄疫」について 帯広畜産大学 領域長補佐 吉田 和生 氏 「育成牛の飼養管理」について ジェネリックス北海道 十勝事業所 等々</li> </ul>	
H24. 4. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度第4回役員会及び会計監査事務等（ホテルポールスター札幌） 春期研修会及び定期総会に係る協議並びに会計監査事務等</li> <li>・平成24年度春期研修会（ホテルポールスター札幌） 講演 「畜産農家が求める公共牧場」とは きくち酪農コンサルティング（株）代表取締役 菊地 実 氏  グループディスカッション</li> <li>報告 「平成24年度畜産公共関係予算」について 農政部農地整備課草地整備グループ 主査 樋口 雅士 氏</li> <li>・寄生虫駆除剤の見積もり合わせ 役員2名 見積業者6業者</li> <li>・懇親会 ホテルポールスター札幌 参加者59名</li> </ul>	
H24. 4. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第40回定期総会（ホテルポールスター札幌4F） 出席者23牧場、書面決議21牧場 計44牧場</li> <li>1. 永年勤続職員等表彰（15名）</li> <li>2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成23年度事業、収支決算報告、監査報告について（議案1・2号）</li> <li>②平成24年度事業計画について（議案3号）</li> <li>③北海道公共牧場会会費額及び納入時期について（議案4号）</li> <li>④平成24年度収支予算（案）について（議案5号）</li> </ul> </li> <li>・北海道公共牧場会哺育部会準備会・設立総会（ホテルポールスター札幌） 参集者14名</li> </ul>	
H24. 6. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道公共牧場職員夏期研修会事前打合せ会議（標茶町） 参集者6名 概要 平成24年度北海道公共牧場職員夏期研修会の開催について</li> </ul>	

